

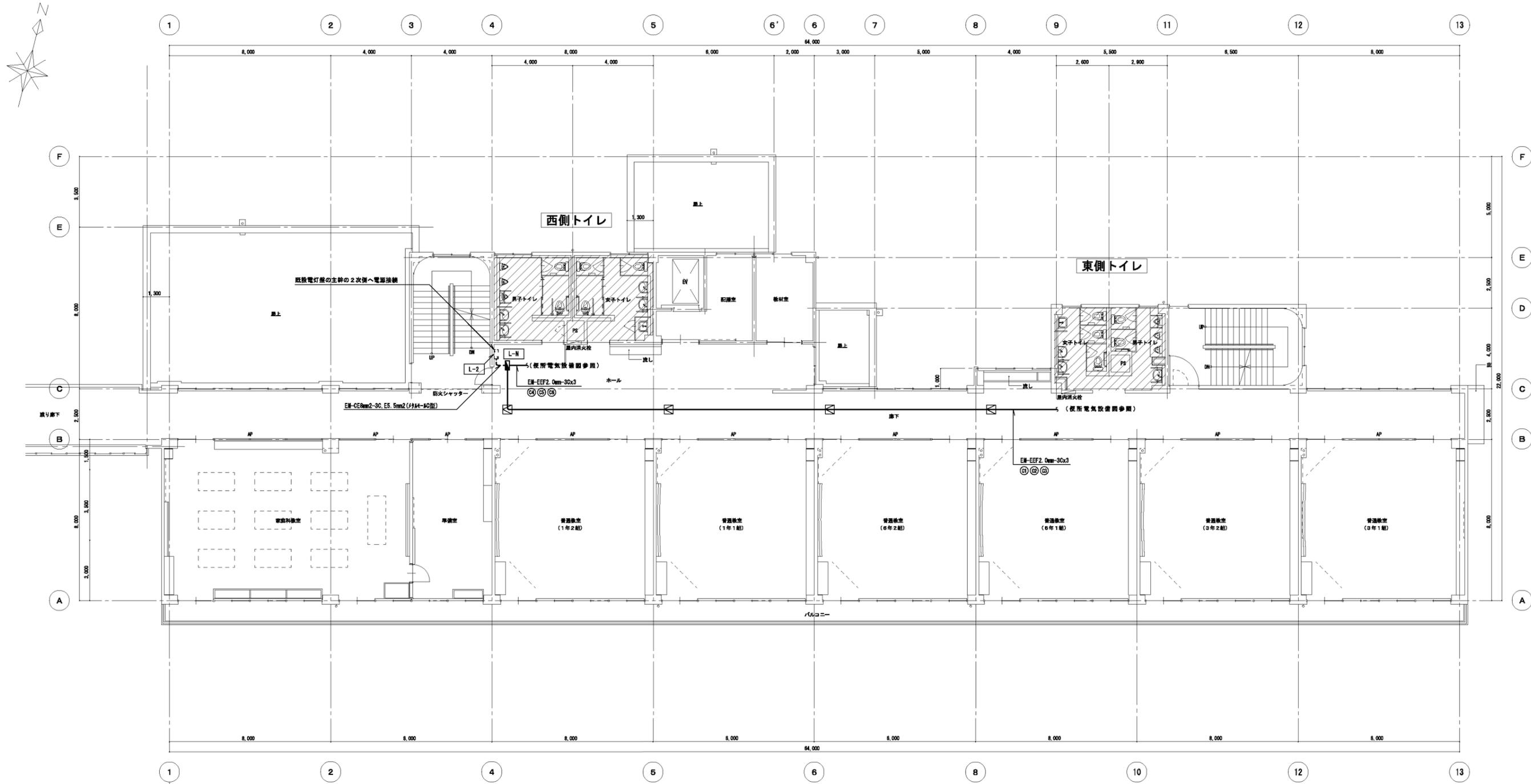
普通教室棟  
昭和60年竣工

管理普通教室棟  
昭和54年竣工

1階平面図 (改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。

記号	機器名称	仕様	適用
	電灯分電盤		既設流用
	動力制御盤		既設流用
	モーター		改修工事
	電灯分電盤	鋼製屋内埋設型	新設
	液面電極	LFAP	新設
	液面電極	LFSP	新設
	点検口	450角	新設 (建築工事)
	点検口	600角	既設流用
(配管・配線)			
	プルボックス	200x200x100 (SUS) WP	新設
	配管配線	天井裏隠ぺい配線	新設
	配管配線	露出配線	新設
	配管配線		既設流用

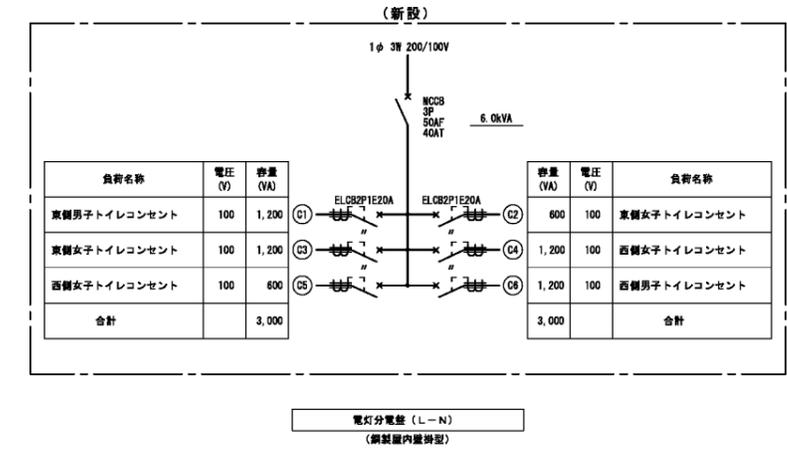


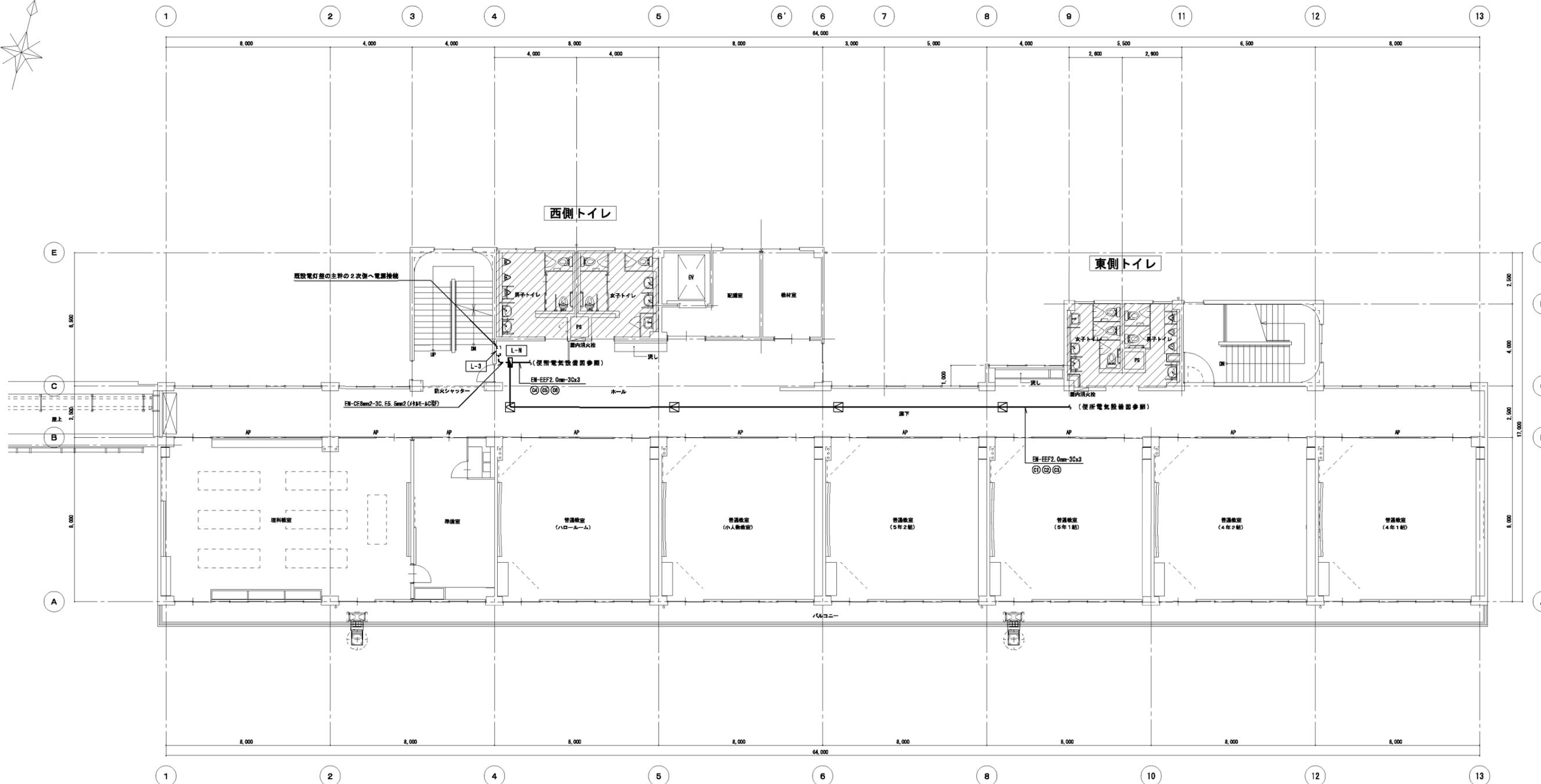
普通教室棟  
昭和60年竣工

管理普通教室棟  
昭和64年竣工

2階平面図 (改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。



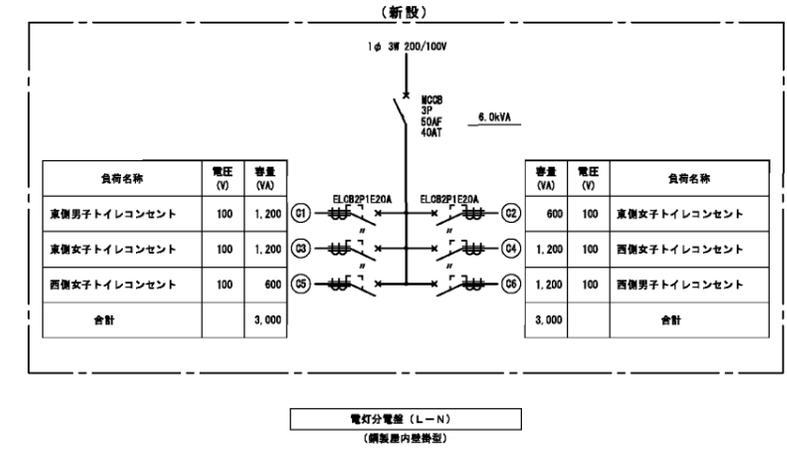


普通教室棟  
昭和60年竣工

管理普通教室棟  
昭和54年竣工

3階平面図(改修後) S=1/100

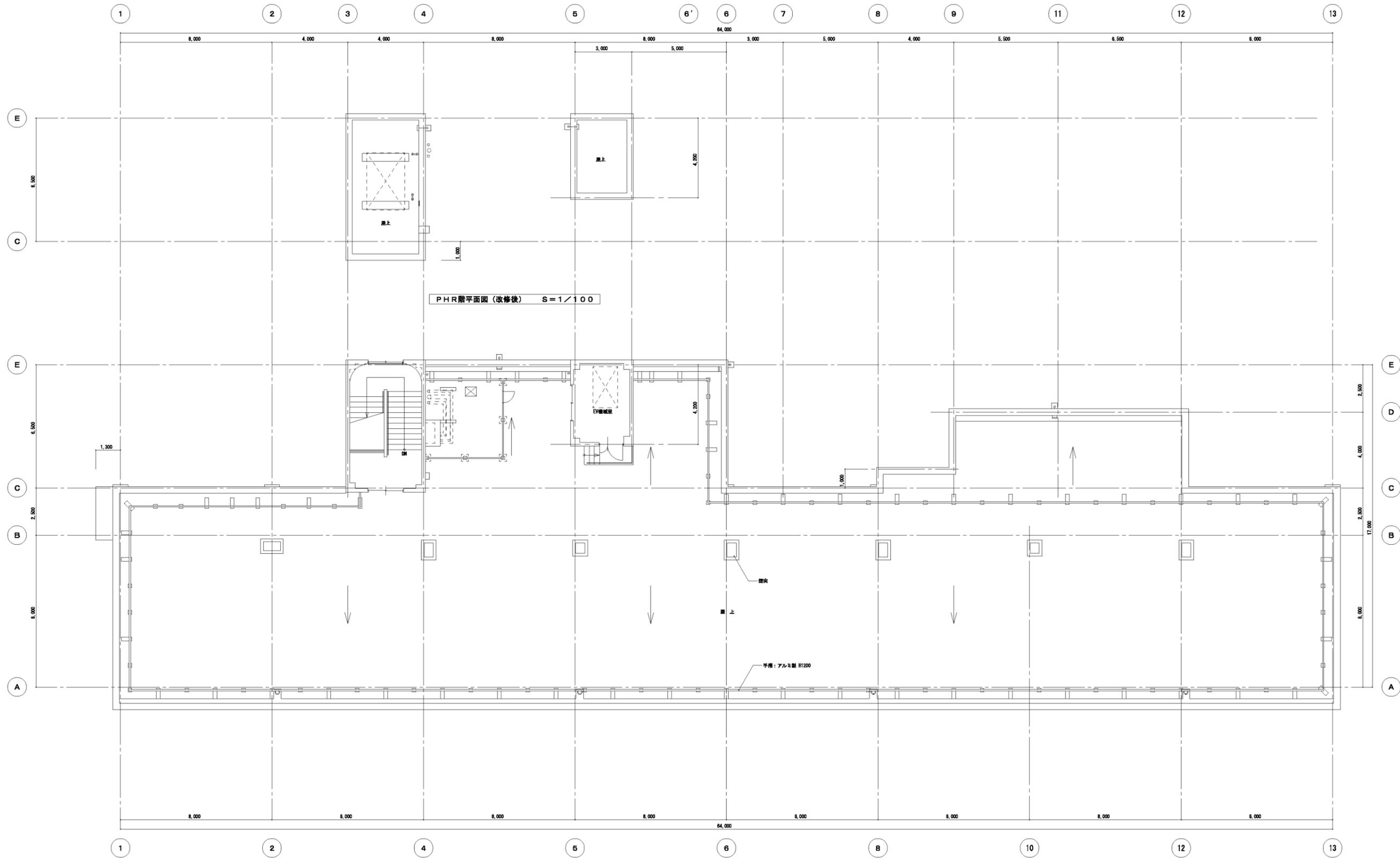
凡例 : トイレ改修工事部分を表す。



春日部市  
学校教育課

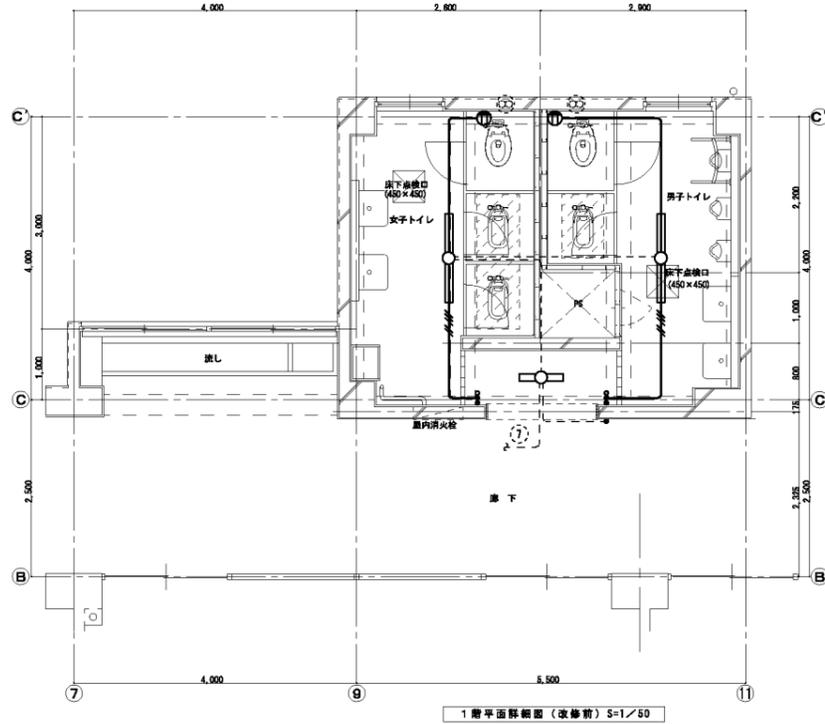
日付  
図面名称 南板井小学校校舎トイレ改修工事  
管理普通教室棟  
3階電気設備図(改修後)

図面No.  
E-04



R階平面図(改修後) S=1/100





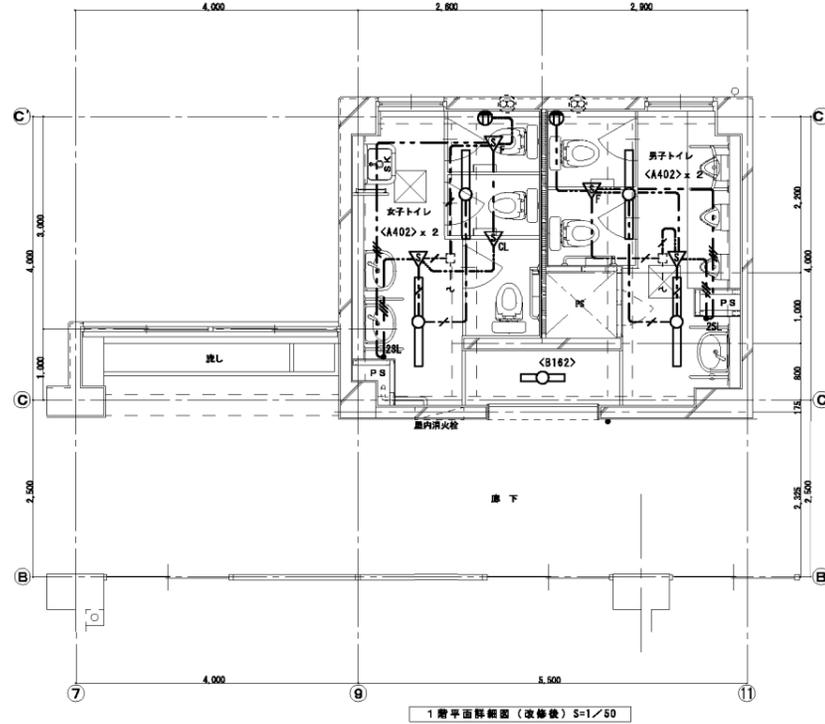
改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)  
 ⅠV1.6mm<sup>2</sup>(C19)  
 ⅠV1.6mm<sup>2</sup>(C25)  
 但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

2. 設備機器凡例 (撤去)

記号	機器名称	仕様	適用
○	照明器具	FL20Wx1 逆富士型	撤去
○	照明器具	FHF32Wx1 逆富士型	撤去
●	埋込スイッチ	1P15Ax1 金属プレート	撤去
●	埋込スイッチ	1P15Ax2+FLx1 金属プレート	撤去
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	撤去
⊕	壁付型換気扇		設備工事
(配管・配線)			
—	配管配線	隠ぺい配管	撤去
- - -	配管配線		既設活用

3. 特記事項  
 (1) 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。  
 (2) コンクリート埋込配管は残置とする。  
 (3) 特記なきコンセント用回路の配管配線は既設維持とする。  
 (4) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。



改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)  
 - - - EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>-20  
 - - - EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>-30  
 - - - EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>(10=Earth)  
 - - - EN-EEF2.0mm<sup>2</sup>(10=Earth)  
 但し、室内立上げ部分及び貫通部分は電線管(PF管)にて保護とする。

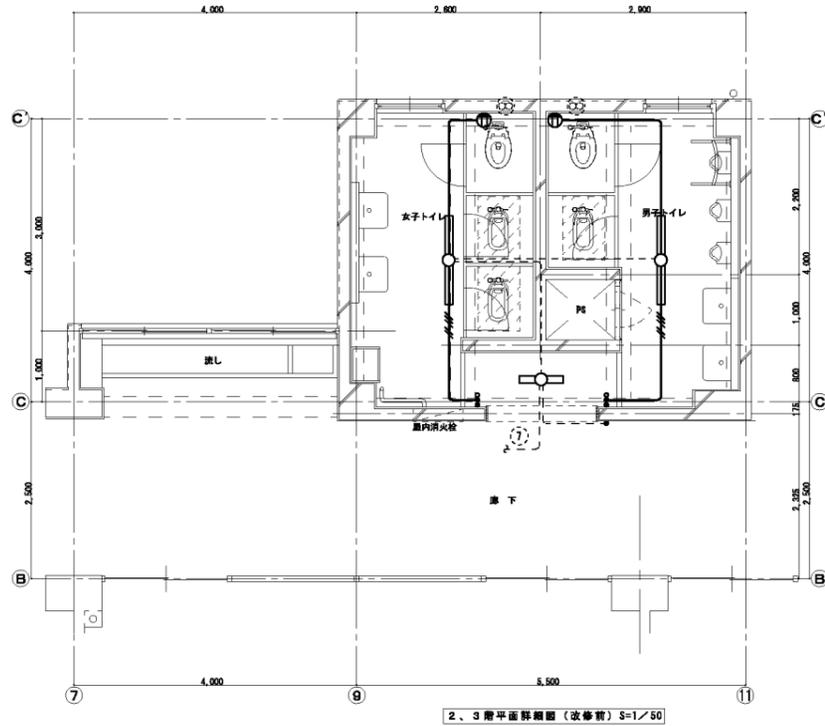
2. 設備機器凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
▽	人感センサー 縦機	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
▽	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
●	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
●	埋込スイッチ	1P15Ax1 金属プレート	新設
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	新設
⊕	埋込コンセント	接地端子付2P15Ax1, 接地端子付 金属プレート	新設
⊕	壁付型換気扇		設備工事
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
- - -	配管配線	天井裏ケーブルごうし	新設
- - -	配管配線	既設RC壁貫通補修 φ75以下	新設
- - -	配管配線		既設

3. 特記事項  
 (1) 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。  
 (2) 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。  
 (3) 各生使用便所は、暖房専用コンセントを新設とする。  
 (4) 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1,800)に取付とする。  
 (5) 各便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。  
 (6)

照明器具表 (新設)

記号	仕様	適用
<M02>	LEDベースライト (FLR40Wx2型相当) 昼白色	
(公共施設型番) LSS9-4-37		<B102> LEDベースライト (FHF10Wx2高出力型相当) 昼白色 (公共施設型番) LSS9-2-30
<A322>	LEDベースライト (FHF32Wx2定格出力型相当) 昼白色	
(公共施設型番) LSS9-4-48		
<O32>	LEDダウンライト (FHF32W相当) 昼白色	
(公共施設型番) LRS1-13		



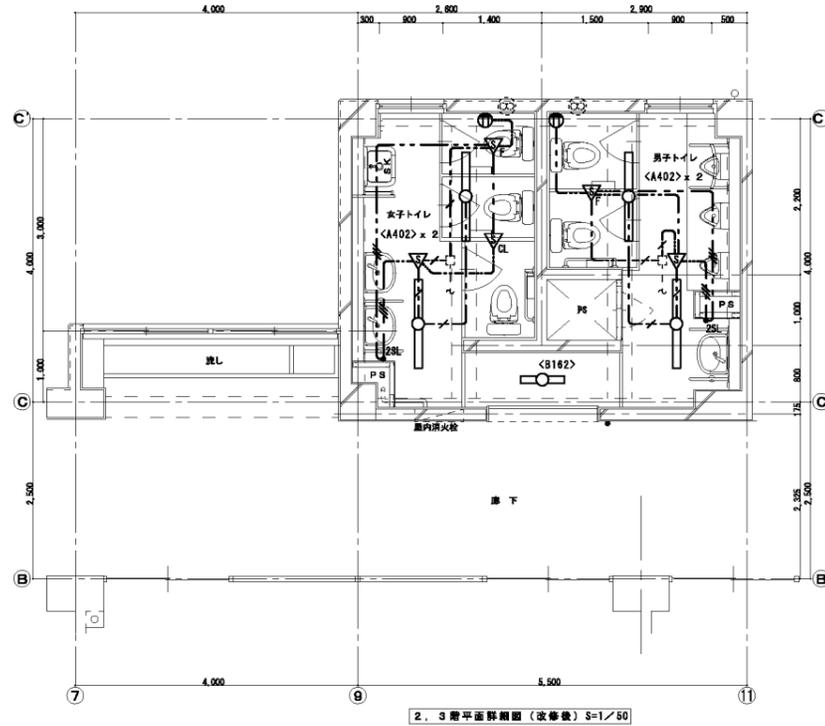
改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)  
 - - - - IV1.6mm<sup>2</sup>(C19)  
 - - - - IV1.6mm<sup>2</sup>(C25)  
 但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

2. 設備機器凡例 (撤去)

記号	機器名称	仕様	適用
○	照明器具	FL20Wx1 遮光土型	撤去
○	照明器具	FHF32Wx1 遮光土型	撤去
●	埋込スイッチ	1P15Ax1 金属プレート	撤去
●	埋込スイッチ	1P15Ax2+FLx1 金属プレート	撤去
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	撤去
⊕	壁付型換気扇		設備工事
(配管・配線)			
—	配管配線	隠ぺい配管	撤去
- - -	配管配線		既設活用

3. 特記事項  
 (1) 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。  
 (2) コンクリート埋込配管は残置とする。  
 (3) 特記なきコンセント用回路の配管配線は既設維持とする。  
 (4) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。



改修項目及び特記事項

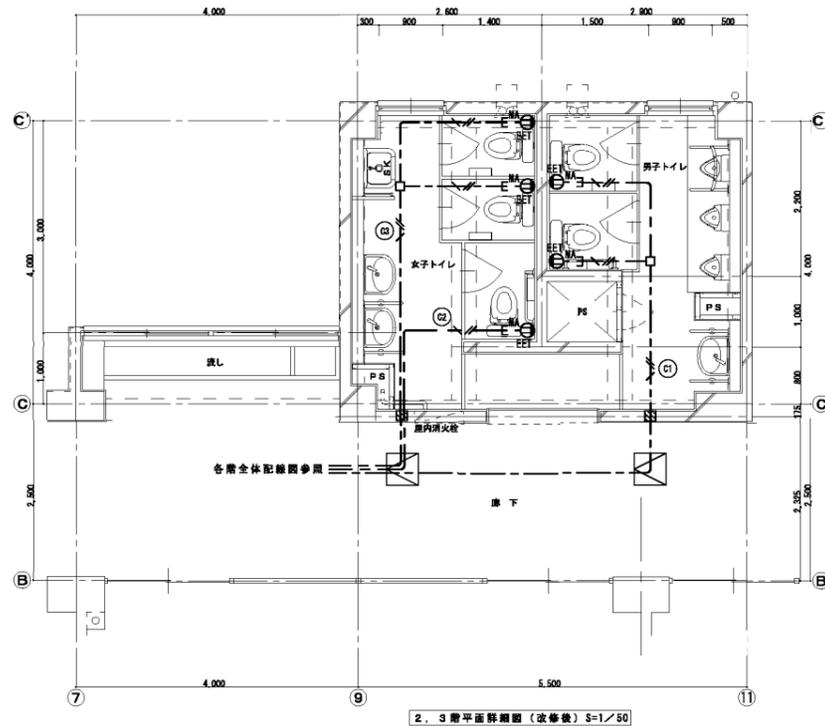
1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)  
 - - - - EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>-20  
 - - - - EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>-30  
 - - - - EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>-30(10=Earth)  
 - - - - EN-EEF2.0mm<sup>2</sup>-30(10=Earth)  
 但し、室内立下げ部分及び貫通部分は電線管(PF管)にて保護とする。

2. 設備機器凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
▽	人感センサー 縦横	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
▽	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
●	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
●	埋込スイッチ	1P15Ax1 金属プレート	新設
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	新設
⊕	埋込コンセント	接地端子付2P15Ax1, 接地端子付 金属プレート	新設
⊕	壁付型換気扇		設備工事
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
-	配管配線	立下げ部分のみメタルモールA配管	新設
- - -	配管配線	貫出	新設
- - -	配管配線	天井裏ケーブルころがし	新設
-	既設RC壁貫通補修	φ75以下	新設
- - -	配管配線		既設

3. 特記事項

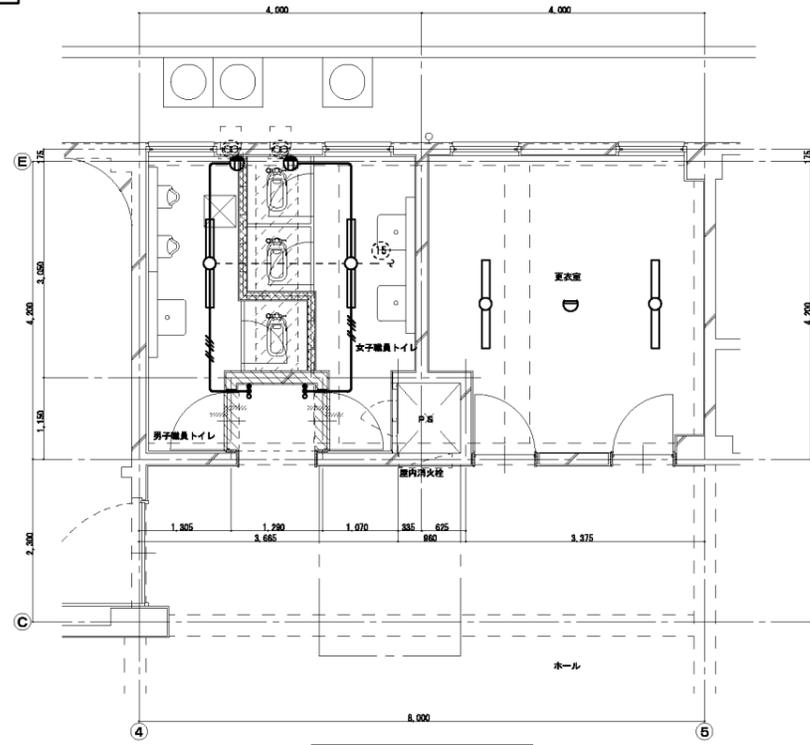
- (1) 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。  
 (2) 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。  
 (3) 各生体使用便所は、暖房便所用コンセントを新設とする。  
 (4) 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1,800)に取付とする。  
 (5) 各層便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。  
 (6)



照明器具案内 (新設)

<M02>	LEDベースライト (FLR40Wx2型相当) 昼白色	<B102>	LEDベースライト (FHF100x2高出力型相当) 昼白色
(公共施設型番)	LS S 9-4-37	(公共施設型番)	LS S 9-2-30
<A322>	LEDベースライト (FHF32Wx2定格出力型相当) 昼白色		
(公共施設型番)	LS S 9-4-48		
<O32>	LEDダウンライト (FHF32W相当) 昼白色		
(公共施設型番)	LR S 1-13		

改修前



1階平面詳細図(改修前) S=1/50

改修項目及び特記事項

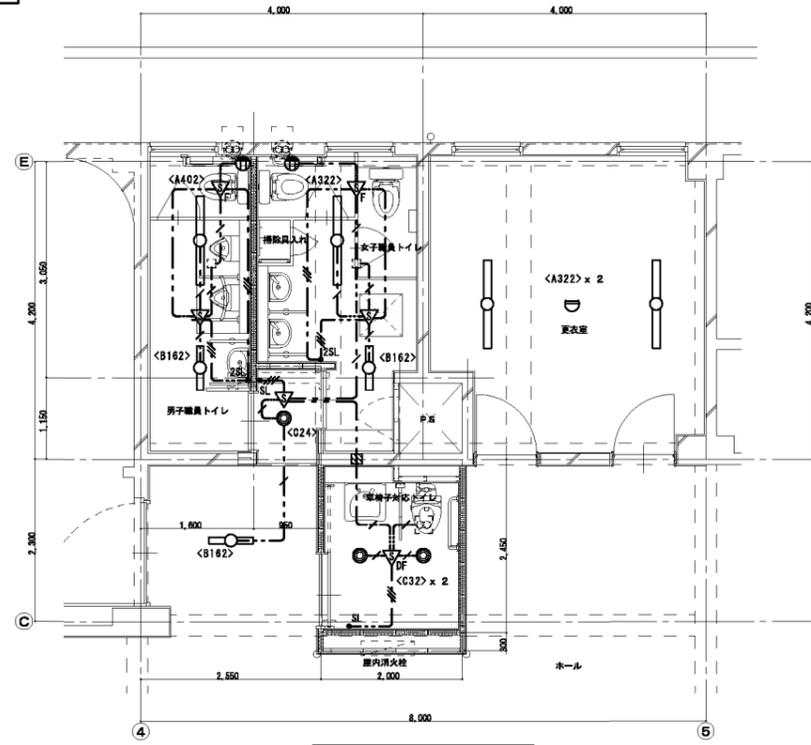
1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)  
 〰 Ⅳ1.0mm<sup>2</sup>(C19)  
 〰 Ⅳ1.0mm<sup>2</sup>(C28)  
 但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

2. 設備機器凡例(撤去)

記号	機器名称	仕様	適用
(電灯コンセント設備)			
○	照明器具	FHF32x1 逆富士型	撤去
⏏	埋込スイッチ	1P15Ax2-PLx1 金属プレート	撤去
⊖	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	撤去
⊗	壁付換気扇		設備工事
(自動火災検知設備)			
☺	スポット型感知器	差動式 2種 露出	取外し
(配管・配線)			
〰	配管配線	隠ぺい配管	撤去
---	配管配線		既設既用

3. 特記事項  
 (1) 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。  
 (2) コンクリート埋込配管は残置とする。  
 (3) 特記なきコンセント用回路の配管配線は既設維持とする。  
 (4) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。

改修後



1階平面詳細図(改修後) S=1/50

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)  
 --- EM-EF1.6mm<sup>2</sup>-20  
 --- EM-EF1.6mm<sup>2</sup>-30  
 --- EM-EF1.6mm<sup>2</sup>-30(0-Earth)  
 --- EM-EF2.0mm<sup>2</sup>-30(0-Earth)  
 但し、室内立上げ部分及び真通部分は電線管(PF管)にて保護とする。

2. 設備機器凡例(新設)

記号	機器名称	仕様	適用
(電灯コンセント設備)			
▽	人感センサー 照機	AC100V 8A 止動開検知型	新設
▽	人感センサー 照機	AC100V 換気扇遅れOFF機能付	新設
▽	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇遅延動作付	新設
⊖	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
⊖	人感センサー操作用スイッチ	1回路用 金属プレート	新設
⊖	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	新設
⊖	埋込コンセント	接地確保付2P15Ax1 接地端子付 金属プレート	新設
⊗	壁付換気扇		設備工事
⊗	天井埋込型換気扇		設備工事
(自動火災検知設備)			
☺	スポット型感知器	差動式 2種 露出	再取付
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
---	配管配線	立上げ部分のみメタルモールA配管	新設
---	配管配線	露出	新設
---	配管配線	天井裏ケーブルころがし	新設
---	既設RC埋置配線	φ75以下	新設
---	配管配線		既設

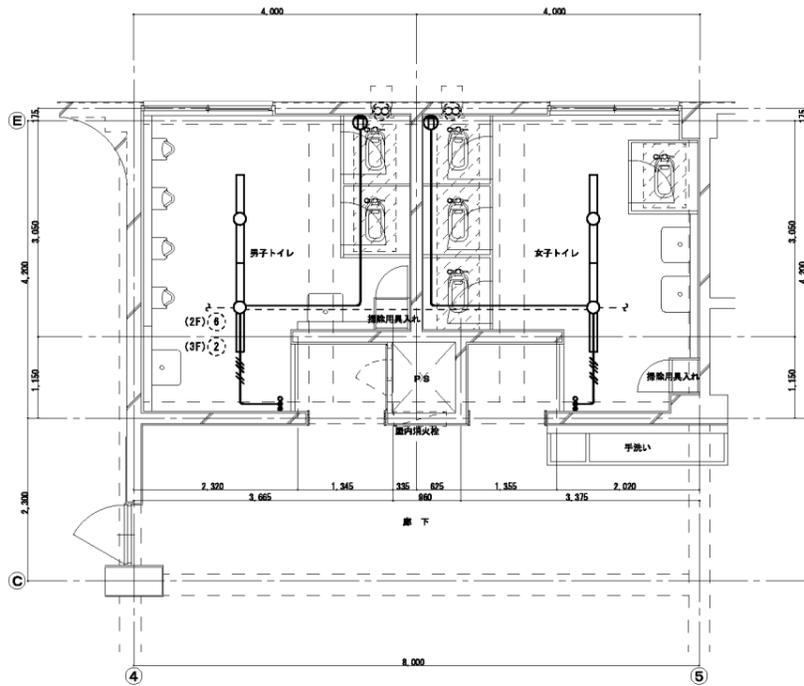
3. 特記事項

- (1) 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。  
 (2) 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。  
 (3) 各生体使用便所は、暖房便所用コンセントを新設とする。  
 (4) 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1,800)に取付とする。  
 (5) 各便便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。  
 (6)

照明器具配置(新設)

<A402>	LEDベースライト(FLR40Wx2型相当) 温白色	<B162>	LEDベースライト(FHF108x2高出力型相当) 温白色
(公共施設型番)	LSR9-4-37	(公共施設型番)	LSR9-2-30
<A322>	LEDベースライト(FHF32x2定格出力型相当) 温白色		
(公共施設型番)	LSR9-4-48		
<C22>	LEDダウンライト(FHT32W型相当) 温白色		
(公共施設型番)	LSR1-13		
<C24>	LEDダウンライト(FHT24W型相当) 温白色		
(公共施設型番)	LSR1-08		

改修前



2. 3階平面詳細図 (改修前) S=1/50

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)

- IV1.6mm<sup>2</sup>(C19)
- IV1.6mm<sup>2</sup>(C25)

但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

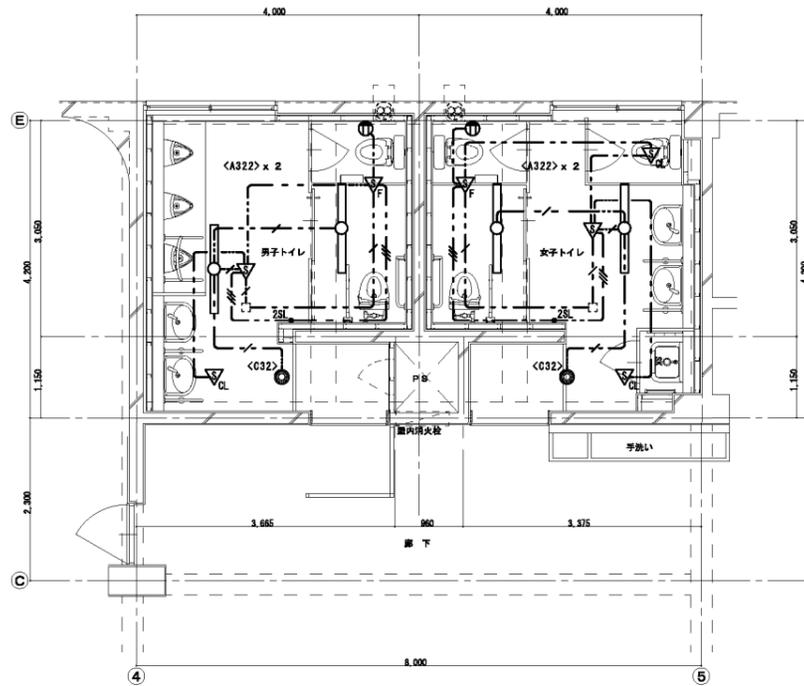
2. 設備機器凡例 (撤去)

記号	機器名称	仕様	適用
○	照明器具	FHF32Wx1 逆富士型	撤去
⊖	埋込スイッチ	1P15Ax2+PLx1 金属プレート	撤去
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	撤去
⊗	壁付型換気扇		設置工事
(配管・配線)			
□	アウトレットボックス	四角中型x44	撤去
—	配管配線	隠ぺい配管	撤去
- - -	配管配線		既設活用

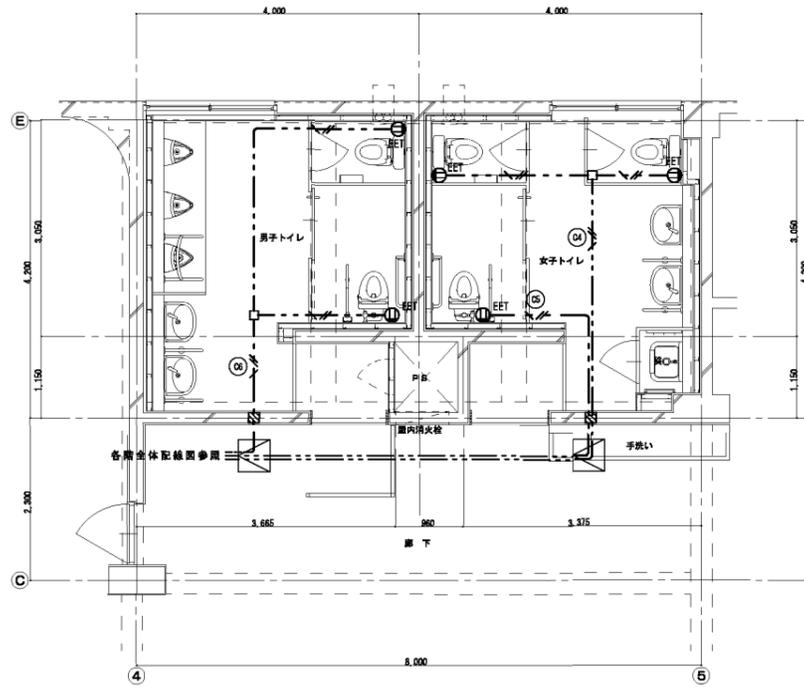
3. 特記事項

- (1) 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。
- (2) コンクリート埋込配管は撤去とする。
- (3) 特記なきコンセント用回路の配管配線は既設維持とする。
- (4) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。

改修後



2. 3階平面詳細図 (改修後) S=1/50



2. 3階平面詳細図 (改修後) S=1/50

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)

- - - EM-EEF1.6mm<sup>2</sup>-20
- EM-EEF1.6mm<sup>2</sup>-30
- EM-EEF1.6mm<sup>2</sup>(I=Earth)
- EM-EEF2.0mm<sup>2</sup>(I=Earth)

但し、室内立下り部分及び貫通部分は電線管(PF管)にて保護とする。

2. 設備機器凡例 (新設)

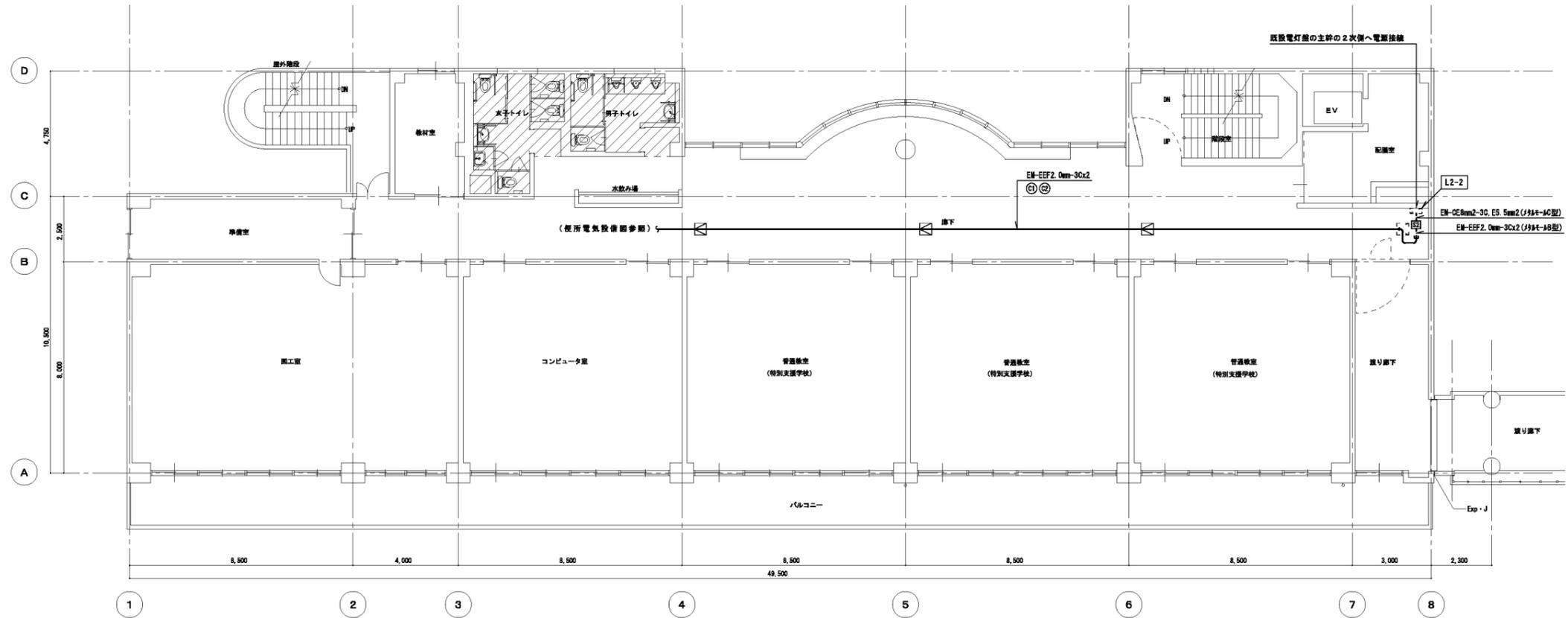
記号	機器名称	仕様	適用
▽ <sub>G</sub>	人感センサー 検体	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
▽ <sub>F</sub>	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽ <sub>F</sub>	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
⊖ <sub>2R</sub>	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	新設
⊕ <sub>EET</sub>	埋込コンセント	接地極付2P15Ax1 接地端子付 金属プレート	新設
⊗	壁付型換気扇		設置工事
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
- - -	配管配線	天井裏ケーブルころがし	新設
—	既設R0継ぎ差し	φ75以下	新設
- - -	配管配線		既設

3. 特記事項

- (1) 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。
- (2) 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。
- (3) 各生使用便所は、暖房便用コンセントを新設とする。
- (4) 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1,800)に取付とする。
- (5) 各便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。
- (6)

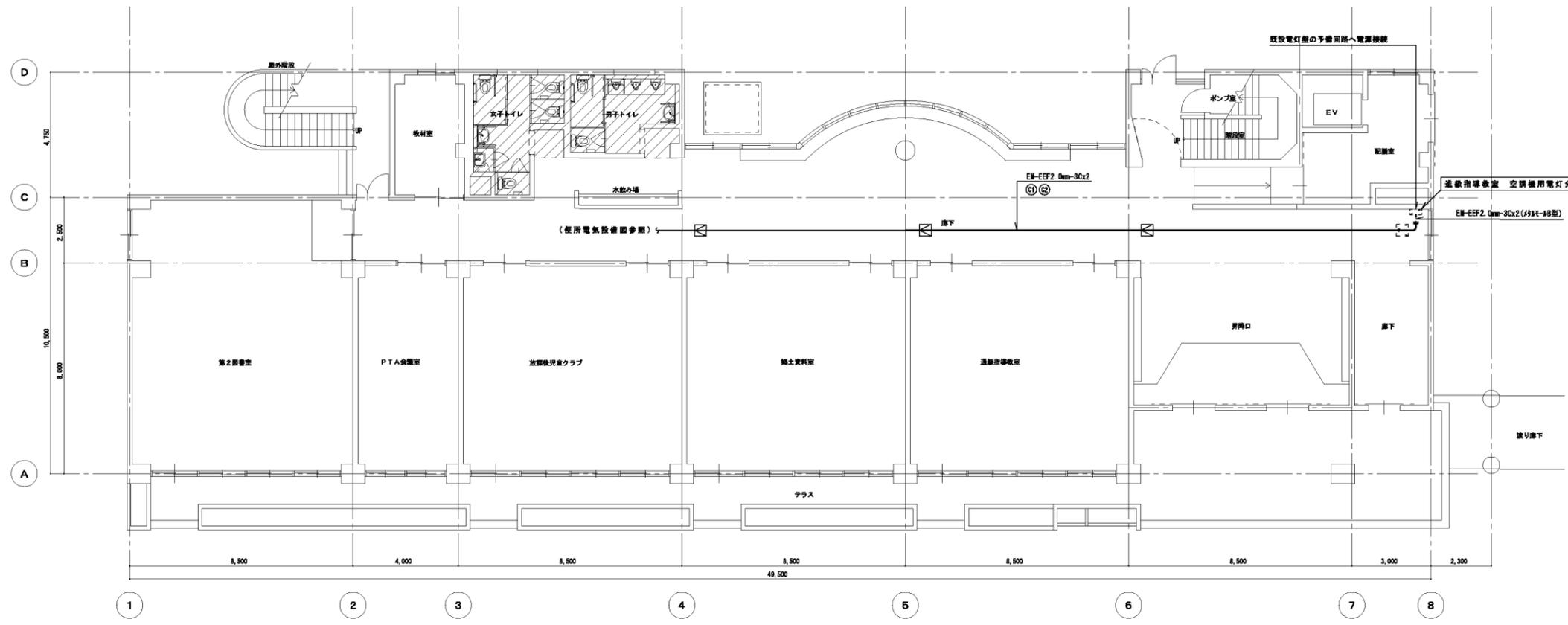
照明器具要領 (新設)

<A402>	LEDベースライト (FLR40Wx2型相当) 温白色	<B102>	LEDベースライト (7HF10Wx2高出力型相当) 温白色
(公共施設型番)	LSS9-4-37	(公共施設型番)	LSS9-2-30
<A322>	LEDベースライト (7HF32Wx2定格出力型相当) 温白色		
(公共施設型番)	LSS9-4-48		
<C02>	LEDダウンライト (7HT32W型相当) 温白色		
(公共施設型番)	LRS1-13		



2階平面図(改修後) S=1/100

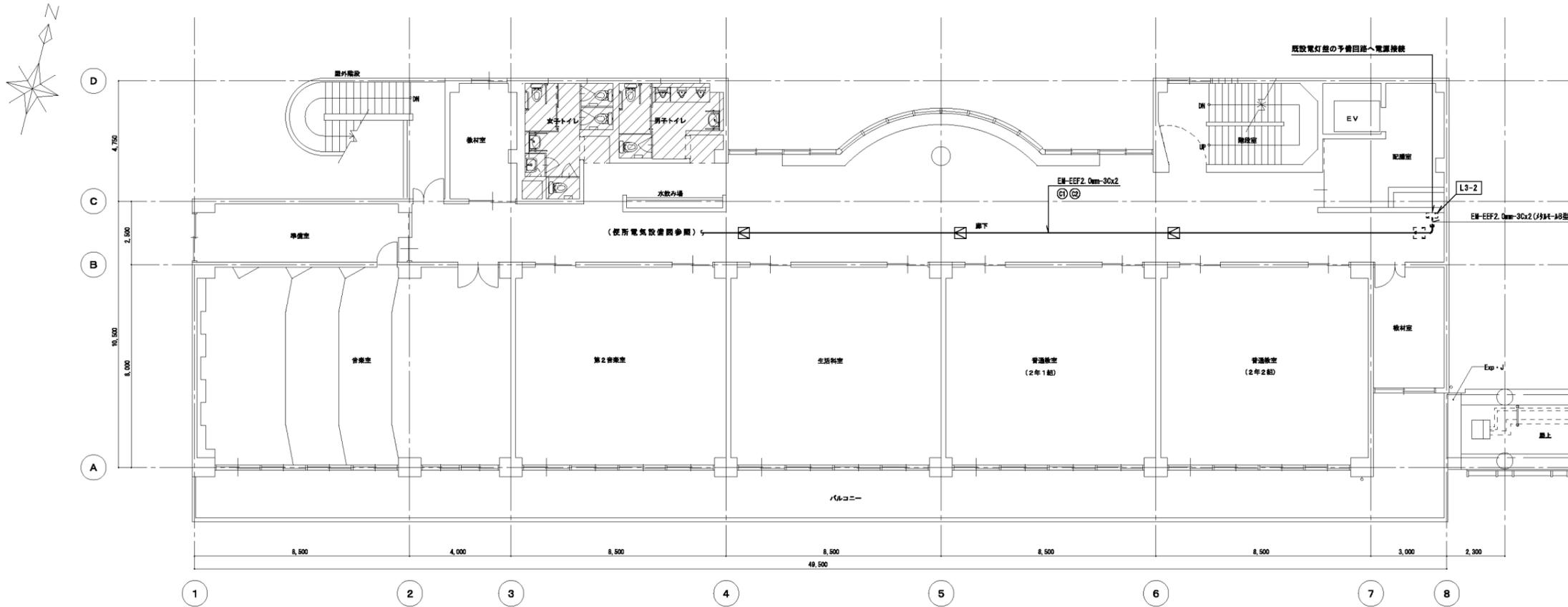
凡例 : トイレ改修工事部分を表す。



1階平面図(改修後) S=1/100

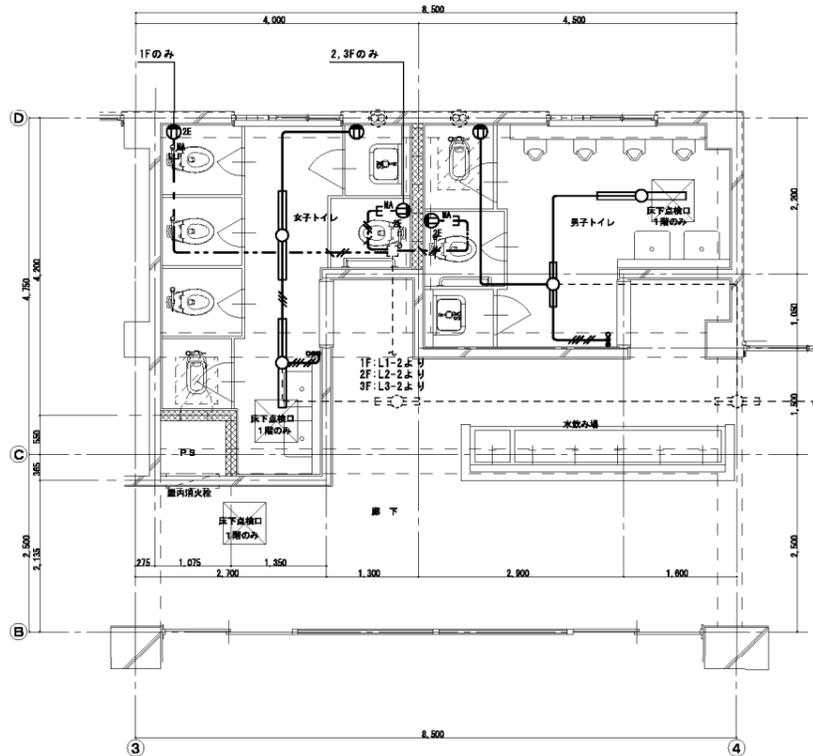
凡例 : トイレ改修工事部分を表す。

記号	機材名称	仕様	適用
	電灯分電盤		既設活用
	照明開閉器	ELG82P1E20Ax2 屋内用	新設
	点検口	450角	新設(建築工事)
	点検口	600角	既設
(配管・配線)			
	配管配線	天井裏隠ぺい配線	新設
	配管配線	露出配線	新設



3階平面図 (改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。



1~3階平面図詳細図(改修前) S=1/50

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)

- IV1.6mm<sup>2</sup>(C19)
- IV1.6mm<sup>3</sup>(C19)
- IV1.6mm<sup>5</sup>(C25)

但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

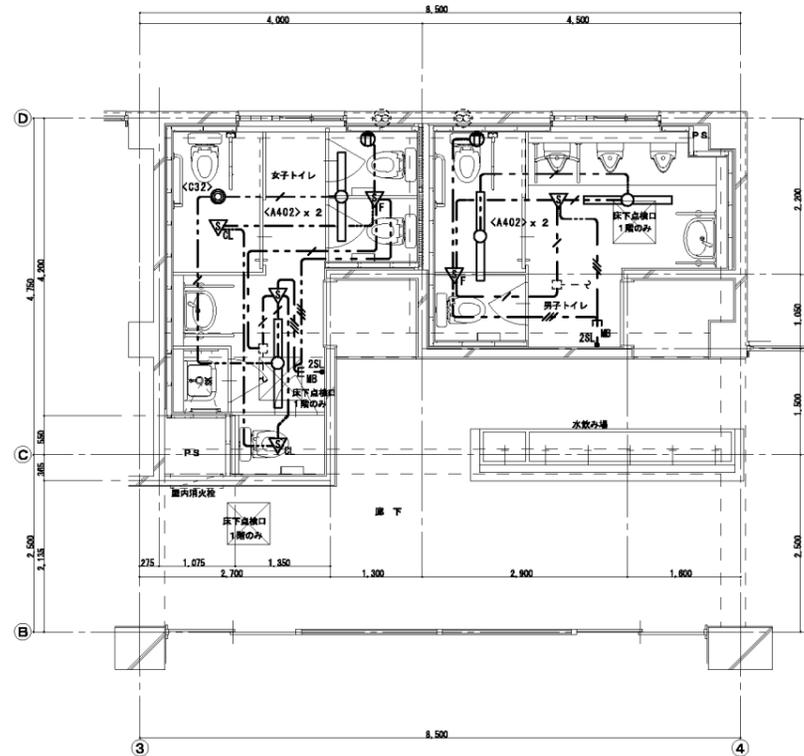
- VVF2.0mm<sup>2</sup>(10-Earth)

2. 設備標準凡例 (撤去)

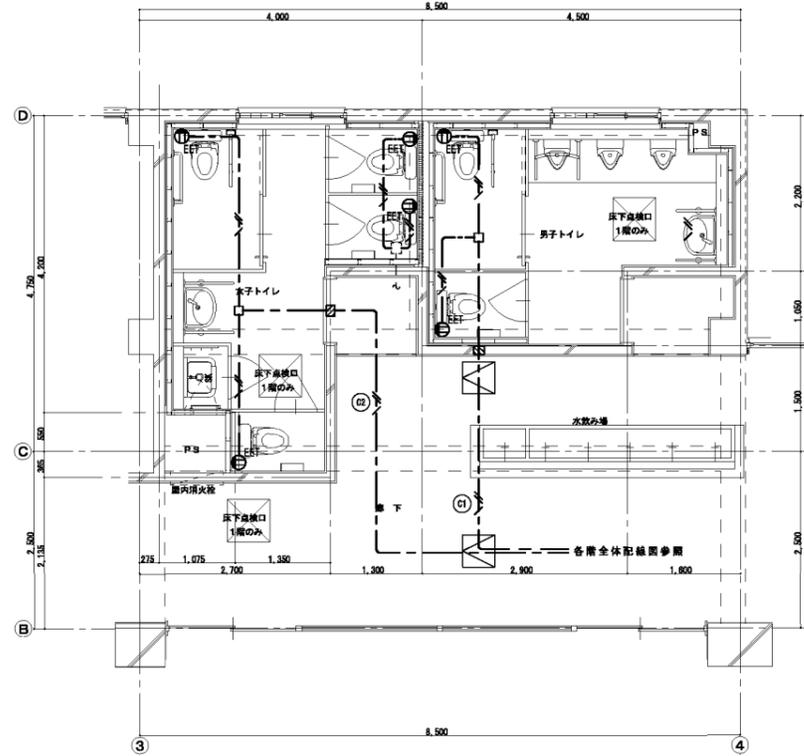
記号	機器名称	仕様	適用
○	照明器具	FL20x1 逆富士型	撤去
□	照明器具	FL20x1 逆富士型	既設撤去
○	照明器具	FHF32x1 逆富士型	撤去
⊖	埋込スイッチ	1P15Ax2-PLx1 金属プレート	撤去
⊖	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	撤去
⊖	埋込コンセント	接地極付2P15Ax2 金属プレート	撤去
⊖	壁付型換気扇		設備工事
(配管・配線)			
□	アウトレットボックス	四角中型x44	撤去
□	アウトレットボックス	四角中型x44	既設撤去
—	配管配線	隠ぺい配管	撤去
—	配管配線	天井いんべい	撤去
—	配管配線	露出(引込-A配管)	撤去
—	配管配線	立上げ部分のみ引込-A露出配管	撤去
—	配管配線		既設撤去

3. 特記事項

- (1) 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。
- (2) コンクリート埋込配管は撤去とする。
- (3) 特記無きコンセント用回路の配管配線は既設維持とする。
- (4) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。



1~3階平面図詳細図(改修後) S=1/50



1~3階平面図詳細図(改修後) S=1/50

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)

- EN-EEF1.6mm<sup>2</sup>
- EN-EEF1.6mm<sup>3</sup>
- EN-EEF1.6mm<sup>3</sup>(10-Earth)
- EN-EEF2.0mm<sup>2</sup>(10-Earth)

但し、室内立上げ部分及び貫通部分は電線管(PF管)にて保護とする。

2. 設備標準凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
▽	人感センサー 感機	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
▽	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
⊖	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
⊖	埋込コンセント	2P15Ax1 金属プレート	新設
⊖	埋込コンセント	接地極付2P15Ax1 接地端子付 金属プレート	新設
⊖	壁付型換気扇		設備工事
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
—	配管配線	立上げ部分のみメタルモールB配管	新設
—	配管配線	露出	新設
—	配管配線	天井裏ケーブルころがし	新設
—	配管配線	既設RC壁貫通補修	φ75以下
—	配管配線		既設

3. 特記事項

- (1) 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。
- (2) 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。
- (3) 各生体使用所は、暖房専用コンセントを新設とする。
- (4) 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1,800)に取付とする。
- (5) 各層使用所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。
- (6)

照明器具配置 (新設)

<M02>	LEDベースライト(FLR40x2型相当) 昼白色	<B102>	LEDベースライト(FHF106x2高出力型相当) 昼白色
(公共施設型番)	LS89-4-37	(公共施設型番)	LS89-2-30
<A322>	LEDベースライト(FHF32x2定格出力型相当) 昼白色		
(公共施設型番)	LS89-4-48		
<C32>	LEDダウンライト(FHF32x2型相当) 昼白色		
(公共施設型番)	LSR1-13		

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

Table with 3 columns: No., Name, Date. Includes project name '南桜井小学校校舎トイレ改修工事' and dates.

Table with 6 columns: Building Name, Structure, Number of Floors, Area (m²), Fire Code, Remarks. Lists building details.

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)

Table for construction items with columns for item name and application status (①-⑤). Includes items like air conditioning, plumbing, etc.

6 指定部分 ※無 ・有 対象部分: 工期: 令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
1 専任期間の始期
2 専任期間の終期
3 専任期間の中断

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要
1 換気扇・天井扇の更新
2 各トイレ衛生器具の撤去新設
3 給排水・通気管の撤去新設
4 受水槽・排水ポンプの撤去新設
5 管理普通教室棟1階西側トイレの消火栓箱の撤去新設

10 電気設備工事及び建築工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
11 同時期発注の関連工事
・建築工事 ・電気設備工事

II 工事仕様

1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書(最新版) (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)、公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版) (以下「標準仕様書等」という。)

Main specification table with columns: Item No., Item Name, Description. Contains detailed technical requirements for materials, electrical safety, and construction methods.

18 防露保温工事

Table for condensation prevention and insulation with columns: Area, Construction Location, Insulation Type. Lists insulation methods for various building parts.

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆管を使用し、外装は下記による。
2. 施工種別日の材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧紙を使用する。

Table for duct insulation with columns: Area, Construction Location, Insulation Type. Lists insulation methods for ducts.

Table for hot water and ventilation pipe insulation with columns: Area, Construction Location, Insulation Type. Lists insulation methods for hot water and ventilation pipes.

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。
2. 排水管の管種が耐火二層管、耐火V.P.の場合は、保温を要しない。

19 防凍保温
・屋外露出給水管(呼び径20以下のみ)は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。

20 塗装
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。

21 電線
表示なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。

Table for general construction items with columns: Item No., Item Name, Description. Lists items like pipe depth, joint specifications, etc.

1 共通事項
改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

2 改修部分の足場
建築工事特記仕様書による

3 既存部分養生・既存家具等養生
建築工事特記仕様書による

4 備品等の移動
・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

5 仮設間仕切り
(1) 関係請負業者と共用部分
※別契約の関係受注者が定着したものは無償で使用できる。

6 撤去後機材の扱い
(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。

7 支持金物の再使用
(1) インサート金物 ・インサートの毎毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品

8 あと施工アンカーの種別
金具拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承認を受けるものとする。

9 フロン回収
冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。

10 総合調整
・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整
建設機材は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。

11 既存基礎類の種別
建設機材は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを

<p>⑬ その他</p> <p>(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。  (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障のないように綿密に打合せを行うこと。  (3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして決定すること。  (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について  F F式温風暖房機の一時的取り外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取り外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> </tr> <tr> <td>夏 期 37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>28℃</td> <td>6%</td> <td>20℃</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>冬 期 0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>20℃</td> <td>6%</td> <td>20℃</td> <td>6%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期温度50%とする。</p>	外 気		一 般 系 統		屋 内		温度 [DB]	湿度 [RH]	温度 [DB]	湿度 [RH]	温度 [DB]	湿度 [RH]	夏 期 37.1℃	47.1%	28℃	6%	20℃	6%	冬 期 0.5℃	49.4%	20℃	6%	20℃	6%	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。  (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御  (2) 冷媒 HFC ( R 4 1 0 A、R 3 2 又は R 4 0 7 C )  (注 1) R 4 1 0 A を採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。  (注 2) R 3 2 を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。  (3) 増圧系グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 据置装置</p> <p>女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)  男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)  パリアフリートイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)  衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>② 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。  ③ 排水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。  ※掃除口付きソケット ・ 排水試験用掃除口ソケット  ④ 樹の適用 別紙樹表による。</p>																																				
外 気		一 般 系 統		屋 内																																																												
温度 [DB]	湿度 [RH]	温度 [DB]	湿度 [RH]	温度 [DB]	湿度 [RH]																																																											
夏 期 37.1℃	47.1%	28℃	6%	20℃	6%																																																											
冬 期 0.5℃	49.4%	20℃	6%	20℃	6%																																																											
<p>○ 空調調和設備</p> <p>1 設計温湿度</p> <p>2 総合試運転調整</p> <p>3 煙 道</p> <p>4 煙 突</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>7 風量測定口</p> <p>8 チャンパー</p> <p>9 吸出口及び吸込口ボックス</p> <p>10 ダンパー</p> <p>11 配管材料</p> <p>12 弁 類</p> <p>13 温 度 計</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>15 調 査 計 画</p> <p>16 油 面 制 御 装 置</p> <p>17 冷 却 塔</p>	<p>● 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト</p> <p>② 円形ダクト</p> <p>3 風量測定口</p> <p>4 チャンパー</p> <p>5 ダンパー</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>7 保 温</p> <p>⑧ 試運転調整</p> <p>○ 排煙設備</p> <p>1 ダクト</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>○ 自動制御</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>2 構成・機能</p> <p>3 電気計装用機材</p> <p>● 衛生器具設備</p> <p>③ 衛生器具付排水栓</p> <p>④ 自動水栓類の電話</p> <p>⑤ 暖房便座</p> <p>⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>7 大便器耐火カバー</p> <p>⑧ 掃除流し</p> <p>⑨ 排水器具用アール継手</p> <p>10 権 記 板</p> <p>11 水せつけん入れ</p>	<p>※低圧ダクト(亜鉛鉄板製)  長辺の長さ1500mm以下  ※共振工法 ・ スライドオンフランジ工法  ・ アングルフランジ工法  ・ アングルフランジ工法  それ以外の部分 ※アングルフランジ工法  ・ 高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト(亜鉛鉄板製)  ・ ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・ 塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)</p> <p>※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質強化ビニル管(VU)  ・ 換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・ 保温無)  (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。  送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。  (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。  ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750  (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復旧方式(※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下  (2) ピストンダンパー 復旧方式(※遠隔 ・ )</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下配箇所は硬質強化ビニル管(VU)  (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VUP)を使用できる。  ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・  (2) 水抜き管は(※厨房、浴室 ※給排水が滞留する部分 ・ )の排気ダクトには設ける</p> <p>下記のダクトの保温を行う。  ※全熱交換器用の暖かい部ダクト  仕様はN・(ロ)・XIとする。  保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。  ※(※厨房 ・ 湯沸室 ・ )用の暖かい部ダクト(仕様はh・(イ)・Ⅹとし範囲は図示による)</p> <p>風量調整 ※する ・ しない  風量測定 ※する ・ しない  騒音の測定 ・する ※しない</p> <p>※亜鉛鉄板 ・  ※天井取付(・スリット形 ※スイング形)  ・ 壁取付(・スリット形 ・ スイング形)</p> <p>開放及び復旧方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式(遠隔操作 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>建築設備定期検査業務基準書(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>・ 有り ※無し  図示による</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。  屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。  天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓)による電気閉閉式とし、小便器(※一体形・分離形)とする。</p> <p>○小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形  手すり(※本工事 ・ 別途工事)  ○洗面器 ※自動水栓(・全部 ※一部) ・ レバー式水栓(一部)  ・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式  ※スライドバー ・ フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド  ※600×800(耐食鏡) ・ 傾斜鏡(・照明無 ・ 照明付)</p> <p>(1) 器具付止水水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式  (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマとする。</p> <p>※AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座)とする。  (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房  (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式  (4) 使用流体は、飲料用温水とする。  (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。  ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式※電気開閉式(・センサー※タッチスイッチ式)  ※上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>※設ける(ピット内は除く) ・ 設けない</p> <p>※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。</p> <p>※使用できる ・ 使用できない</p> <p>大便器、小便器の洗浄用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>せつけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>● 給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>上水配管</p> <p>中水配管</p> <p>一体形タンク</p> <p>3 水 栓</p> <p>4 量 水 器</p> <p>5 量水器併</p> <p>⑥ 弁 類</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>⑧ 建物導入部配管</p> <p>9 検針方法</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>11 本管取出し</p> <p>● 排水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示(図面指示が不足する箇所は下記)による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部(水道直結部分)</td> <td>※H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部(一般部分)</td> <td>※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td>市営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内(注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管(32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管(10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空室壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部(一般部分)</td> <td>※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内(注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管(32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管(10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空室壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS A G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部(・圧縮 ・ ガワ)以外(※給管)便所・廊下流し廻り露出配管(※給管)とする。  2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。  3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた漏水試験を行う。  4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接続する場合は、接続部が容易に点検できるように点検用側を設ける。  5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。  6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂(PE100)を採用し、管と継手を電気溶着にて接続するものを用いる。  7. 地中埋設部(水道直結部分)は水道事業者の指示による。</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐圧強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさを呼び13の水栓は、第水コマとする。  ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐凍水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。</p> <p>※観メーター(※貸与品 ・ ) ・ 子メーター(※買い取り ・ )</p> <p>※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形</p> <p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>・ 防寒コンクリート水栓柱(1200L) ※不凍給水栓</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。  ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。  ・ 標準図施工4(・(a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示(図面指示が不足する箇所は下記)による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の湿排水</td> <td>※SGP(白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ SGP(白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ 排水用/ホールド 抄塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 樹脂管(ゴム継ぎ手) ※REP-VU(軽荷重の場合) ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ SGP(白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVVP又はRF-VVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VVP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編 2. 2. 6による。  2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。  3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管径合算はY4.5度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PPD	地中埋設部(水道直結部分)	※H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)	地中埋設部(一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)	市営住宅 住戸内	※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管(10mm保温付)	便所空室壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	・ SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管	湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PPD	地中埋設部(一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)	便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管(10mm保温付)	便所空室壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	・ SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	厨房等の湿排水	※SGP(白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ SGP(白)	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ 排水用/ホールド 抄塗装鋼管	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 樹脂管(ゴム継ぎ手) ※REP-VU(軽荷重の場合) ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ SGP(白)	その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管	<p>○ 消火設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>② 建物導入部配管</p> <p>○ ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 ガス漏れ警報 遮断装置</p> <p>3 液化石油ガスの供給管</p> <p>○ 厨房設備</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、春日部市機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。  ・ 種類及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) ・ m<sup>3</sup>  ・ 中間処理施設 市 地内、(株) ・  ・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶解含まず)  ・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶解を含む)</p> <p>第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合は、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>第6条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第7条 この特記仕様書に記載等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>
施 工 箇 所	管 種 別																																																															
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管																																																															
ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管																																																															
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PPD																																																															
地中埋設部(水道直結部分)	※H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																															
地中埋設部(一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																															
市営住宅 住戸内	※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法)																																																															
便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)																																																															
便所天井内	※ポリブテン管(10mm保温付)																																																															
便所空室壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																															
その他の部分	・ SUS ・ SGP-PPD ※H1VP ・ ポリブテン管																																																															
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																															
湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																															
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PPD																																																															
地中埋設部(一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																															
便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)																																																															
便所天井内	※ポリブテン管(10mm保温付)																																																															
便所空室壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																															
その他の部分	・ SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																															
施 工 箇 所	管 種 別																																																															
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																															
厨房等の湿排水	※SGP(白) ・																																																															
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ SGP(白)																																																															
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管																																																															
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																															
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ 排水用/ホールド 抄塗装鋼管																																																															
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管																																																															
地中埋設部	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP ・ 樹脂管(ゴム継ぎ手) ※REP-VU(軽荷重の場合) ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																															
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP(FDPS-I)又は耐火VVP ・ SGP(白)																																																															
その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・ VVP ・ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管																																																															
<p>春日部市  学校教育部  教育施設課</p>	<p>日付 2024.7.1  縮尺 A1: -  A3: -</p>	<p>工事名称 南桜井小学校校舎トイレ改修工事  図面名称 機械設備工事特記仕様書(2)</p>	<p>図面No. M-02</p>	<p>日付 2024.7.1  縮尺 A1: -  A3: -</p>																																																												

撤去衛生器具表

器具名	型式	設置場所												合計	設置場所						合計
		管理普通教室棟 東側トイレ						管理普通教室棟 西側トイレ							普通教室棟						
		1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	1階職員男子トイレ	1階職員女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ		1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	
和風大便器	フラッシュバルブ	1	2	1	2	1	2	1	2	2	4	2	4	24組	1	1	1	1	1	1	6組
洋風大便器	フラッシュバルブ	1	1	1	1	1	1							6組	1	4	1	4	1	4	15組
紙巻器		2	3	2	3	2	3	1	2	2	4	2	4	30個	2	5	2	5	2	5	21個
床ストール小便器	フラッシュバルブ	3		3		3		2		4		4		19組	4		4		4		12組
洗面器	立水栓×1	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	2	21組	2	2	2	2	2	2	12組
掃除用建し															1	1	1	1	1	1	6組
化粧鏡	850×450	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	2	21枚	2	2	2	2	2	2	12枚
便器用手すり	L形														1	1	1	1	1	1	6個
	膝ね上げ形																				
	門形																				
小規模用手すり		1		1		1								3個							
洗面器用手すり	P形																				

※注記  
1. 和風便器撤去後の開口部閉塞は建築工事とする。

撤去機器表

機器名	仕様	設置場所	台数	備考
WT-1 受水槽・消火水槽	FRP製パネル組み立て形 3.0×5.0×2.0H 30.0M3 平架台、付属品共	管理普通教室棟屋外	1基	基礎は既存のまま
WP-1 排水ポンプ	横型形多段ポンプ 65A×3.7KW 付属品共	管理普通教室棟ポンプ室	2台	基礎は既存のまま
換気扇	250φ SUS製ウエザーカバー共	管理普通教室棟東側トイレ：1～3階 管理普通教室棟西側トイレ：1～3階 普通教室棟トイレ：1～3階	6台 6台 6台	
屋内消火栓箱	埋め込み形 付属品共	管理普通教室棟西側トイレ1階	1組	

※注記  
1. ユニット形消火栓ポンプは既存のままとし、サクシオン制配管を撤去する。  
2. 消火栓補給水槽は配管共既存のままとする。

新設衛生器具表

器具名	型式	参考品番	付属品	設置場所												設置場所															
				管理普通教室棟東側トイレ						管理普通教室棟西側トイレ						普通教室棟															
				1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	合計	1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	合計								
洋風大便器 (掃除口付)	連続洗浄対応型タンク式	CFS-498BMC	床給水、床排水 便座：重なしローダウン機能付 紙巻器：SUS製2連継付YH701 付属品共	2	3	2	3	2	3							1							2	3	2	3	2	3	2	6組	
洋風大便器 (掃除口付)	連続洗浄対応型タンク式	CFS-498BMC	床給水、床排水 洗浄便座：貯溜形重なしフラッシュタンク式洗浄便器用TCF5623MDS リモコンセット 紙巻器：SUS製2連継付YH701 付属品共												1	1														2組	
車椅子対応大便器	高座面対応	C-480AN	壁給水、床排水 自動洗浄フラッシュ弁 (人体感知センサー付き) 洗浄便座：縦開形 (重なし 金属ベースプレート付) タッチスイッチエコリモコン 電波受信ユニット 付属品共 紙巻器：SUS製2連継付 (ワンタッチ式・高荷重タイプ) 付属品共															1												1組	
自動洗浄小便器		UFS-900WR	壁掛 紙リップ型 発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 付属品共	3		3		3											3		3									17組	
壁掛け洗面器		L-250C	壁給水 自動単水栓 発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 排水栓なし 水せっけん入れなし 排水Pトラップ 付属品共	1	2	1	2	1	2										2	2	2	2								17組	
壁掛け洗面器		L-30DM	壁給水 自動単水栓 発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 排水栓なし 水せっけん入れなし 排水Pトラップ 付属品共												1	2														3組	
車椅子対応洗面器		L-103A	壁給水 自動単水栓 発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 排水栓なし 水せっけん入れなし 排水Pトラップ 付属品共															1												1組	
掃除用流し		SK-22A	排水栓 アンクル形止水栓 床排水金具 (Sトラップ) 付属品共			1		1		1											1		1							5組	
化粧鏡	面取りタイプ	YM-3580FC	耐食形 350×800 付属品共	1	2	1	2	1	2							1	2				2	2	2	2						20枚	
全身鏡	フレーム：アルミ製	YMK50K	300×1500 付属品共												1	1														2組	
洋風便器用すり	樹脂被覆タイプ	T-112CL10	L 形 700L 付属品共	1	1	1	1	1	1						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13組	
洋風便器用すり	樹脂被覆タイプ	T-112HK7R	踏上げ形ロック付き 付属品共															1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5組	
小便器用すり	樹脂被覆タイプ	T-112CU22		1		1			1						1					1		1								6組	
洗面器用すり	樹脂被覆タイプ	T112CP22	床面定形 700L (H740 支持脚WLから200) 付属品共																												6組
洗面器用すり	樹脂被覆タイプ	T112CP21	床面定形 550L (H740 支持脚WLから200) 付属品共	2	2	2	2	2	2						2	2														24組	

※注記  
 1. 陶器の色は、施工時に打ち合わせの上決定する。  
 2. モップ掛け・雑巾掛け・姿見鏡は、建築工事とする。  
 3. 壁に取り付ける器具取付用の合板補強は、建築工事とする。  
 4. 手摺及び紙巻器の取付け・納まりは、建築意匠図 (部分詳細図) を参照する。  
 5. 陶器は、親水性防汚加工品を使用すること。

衛生設備 新設機器表

記号	機器名	仕様	電 源			設置場所	台数	備 考
			φ	V	kw(w)			
WT-1	受水槽	形 式 鋼板製一体形2槽式 耐震1.0G 3.0×2.5×2.2H 16.5m <sup>3</sup> (有効水量13.0m <sup>3</sup> ) 共通平架台、SUS製アンカーボルト、付属品共				管理普通教室棟屋外	1基	既存基礎再利用
FT-1	消火栓水槽	形 式 鋼板製一体形 耐震1.0G 1.5×2.5×2.2H 8.25m <sup>3</sup> (有効水量6.0m <sup>3</sup> ) 散骨平架台、SUS製ボルト、付属品共				管理普通教室棟屋外	1基	既存基礎再利用
WP-1	揚水ポンプ	形 式 SUS製 小型多段タービンポンプ形 50A×250L/min×25m 自動交互運転 標準付属品共 SUS製アンカーボルト、付属品共、コンクリート基礎打ち増し	3	200	2.2	管理普通教室棟ポンプ室	1組	既存基礎再利用
WP-1	屋内消火栓箱	形 式 埋め込み形1号 消火栓弁 ノズル ホース 標準付属品共				管理普通教室棟1階車椅子対応トイレ	1組	

換気設備 新設機器表

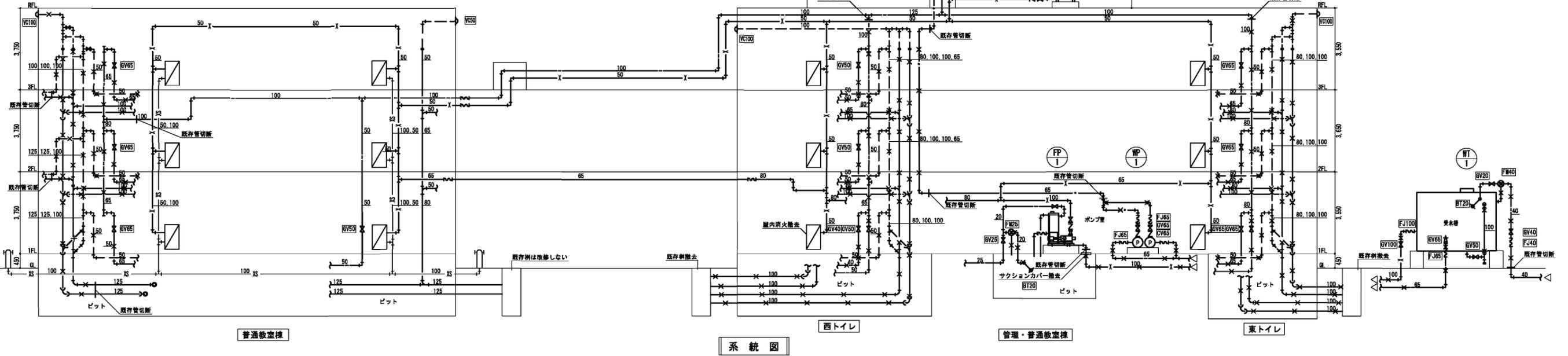
記号	機器名	仕様	電 源			設置場所	台数	備 考
			φ	V	kw(w)			
EF-1	壁換気扇	形 式 格子タイプ 電気式シャッター 250φ×690m <sup>3</sup> /h SUS製ウエザークバー (防虫網付) 西2-3階トイレのみ取り付け枠 (4個)	1	100	(15.5)	管理普通教室棟東側トイレ：1～3階男女 管理普通教室棟西側トイレ：1～3階男女 普通教室棟トイレ：1～3階男女	6台	EK-25EK9-C
EF-2	天井扇	形 式 低騒音タイプ 100φ×130m <sup>3</sup> /h×50Pa	1	100	(14)	管理普通教室棟車椅子対応トイレ：1階	1台	VD-15Z14

※注記  
 1. 管理普通教室棟西側トイレ2-3階は建築工事壁厚増加により換気扇取り付け枠を延長する。  
 2. スイッチ及び電源は電気工事とする。

改修前

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ピット内	水道用塩ビライニング管
—	給水管	埋設内	水道用塩ビライニング管
—	汚水管	ピット内	排水ライニング管・排水用鋼管
—	排水管	ピット内	排水ライニング管・排水用鋼管
—	通気管	ピット内	配管用炭素鋼管・強化ビニル管

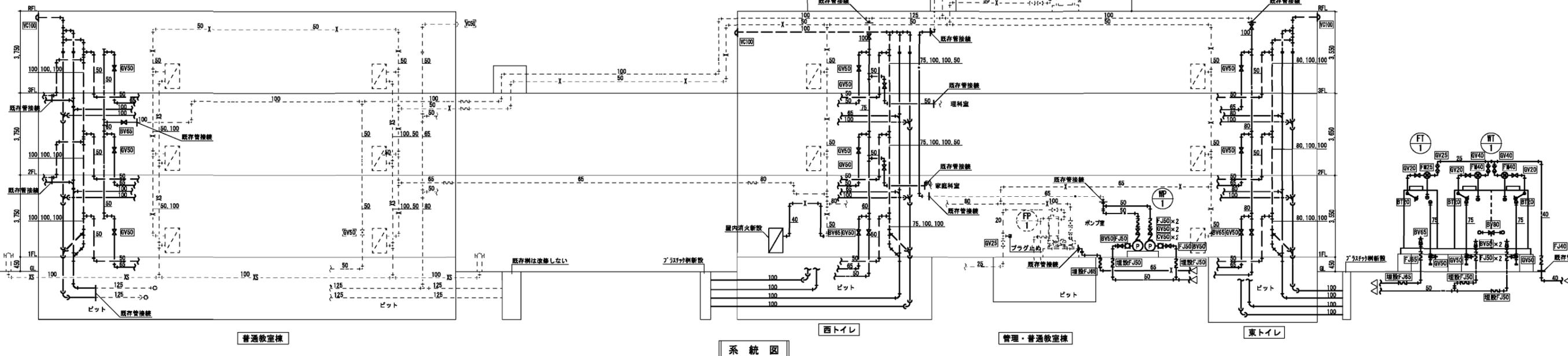
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング管
—	汚水管	天井・PS内	排水ライニング管・排水用鋼管
—	排水管	天井・PS内	排水ライニング管・配管用炭素鋼管
—	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼管・強化ビニル管
—	消火栓管	機械室・露出	配管用炭素鋼管(白)

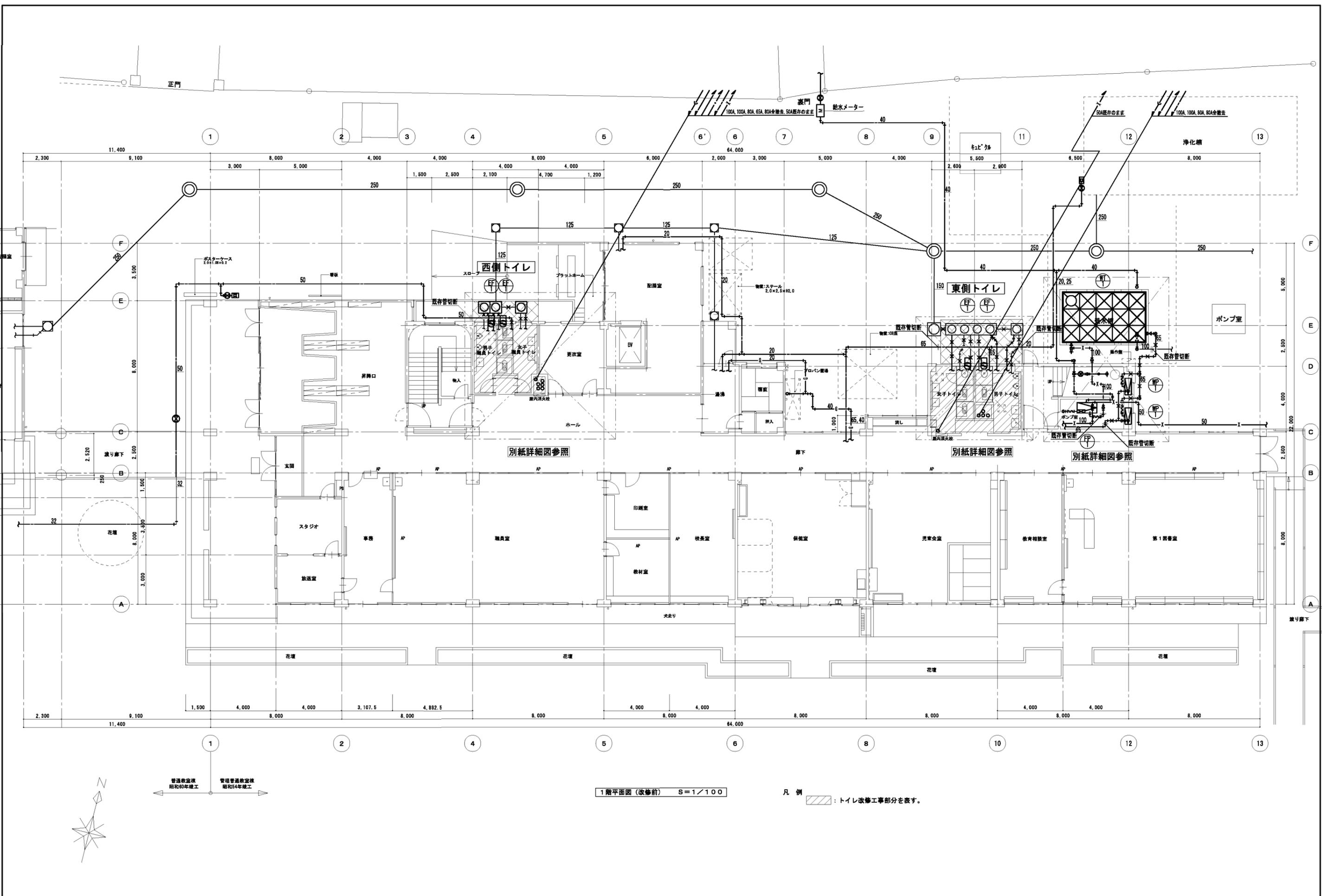


改修後

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ピット内	新設塩ビ強化ビニル管 (HVP)
—	汚水管	ピット内	新設塩ビ強化ビニル管 (VP)
—	排水管	ピット内	新設塩ビ強化ビニル管 (VP)
—	通気管	ピット内	新設塩ビ強化ビニル管 (VP)
—	既存管		

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管 (65A以下)	天井・PS内	新設塩ビ強化ビニル管 (HVP)
—	汚水管	天井・PS内	耐火性炭素繊維強化ビニル管 (VP)
—	排水管	天井・PS内	耐火性炭素繊維強化ビニル管 (VP)
—	通気管	天井・PS内	耐火性炭素繊維強化ビニル管 (VP)
—	消火栓管	機械室・露出	配管用炭素鋼管(白)
—	既存管		

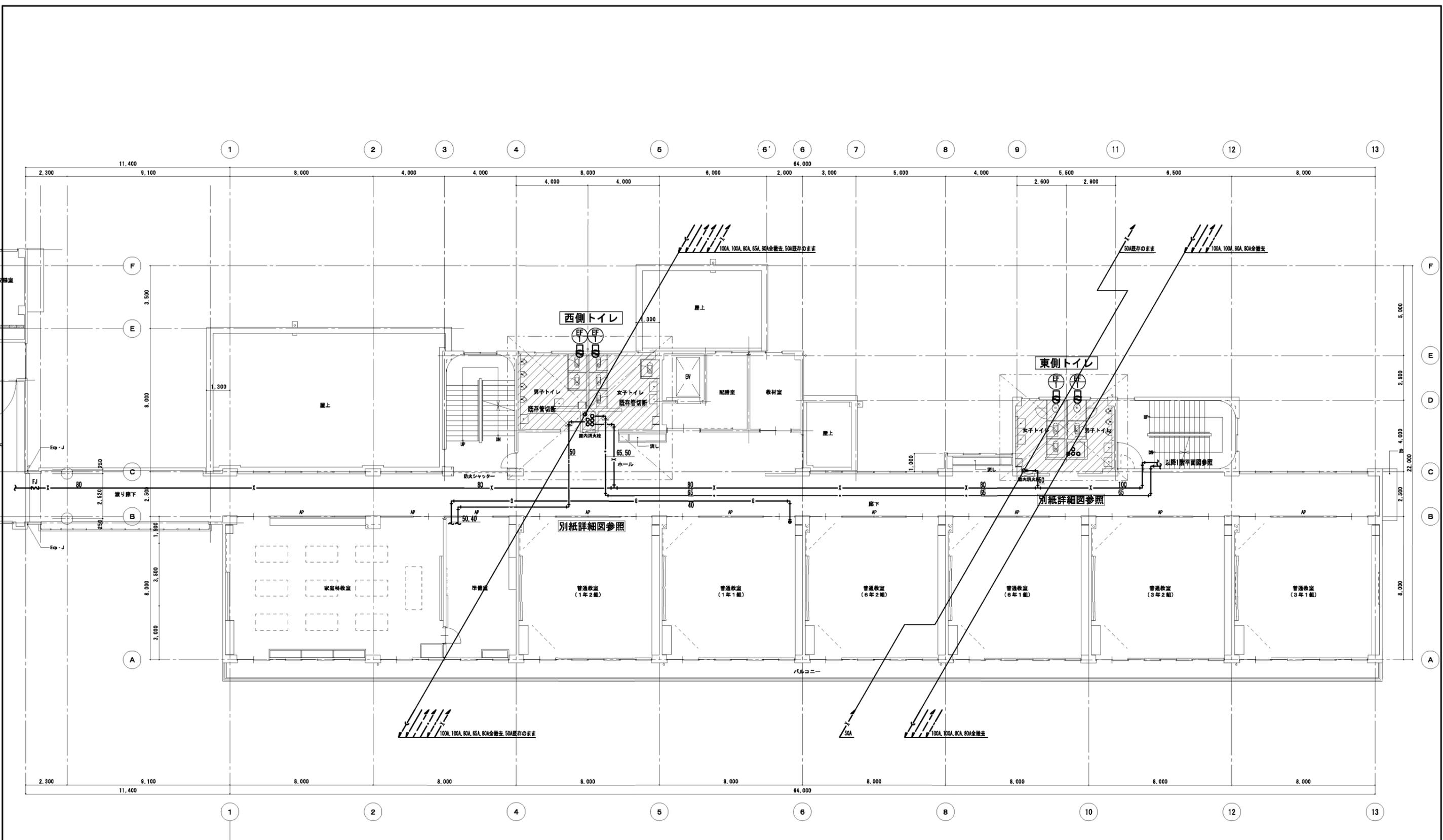




1階平面図(改修前) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。

普通教室棟 昭和60年竣工  
管理普通教室棟 昭和54年竣工



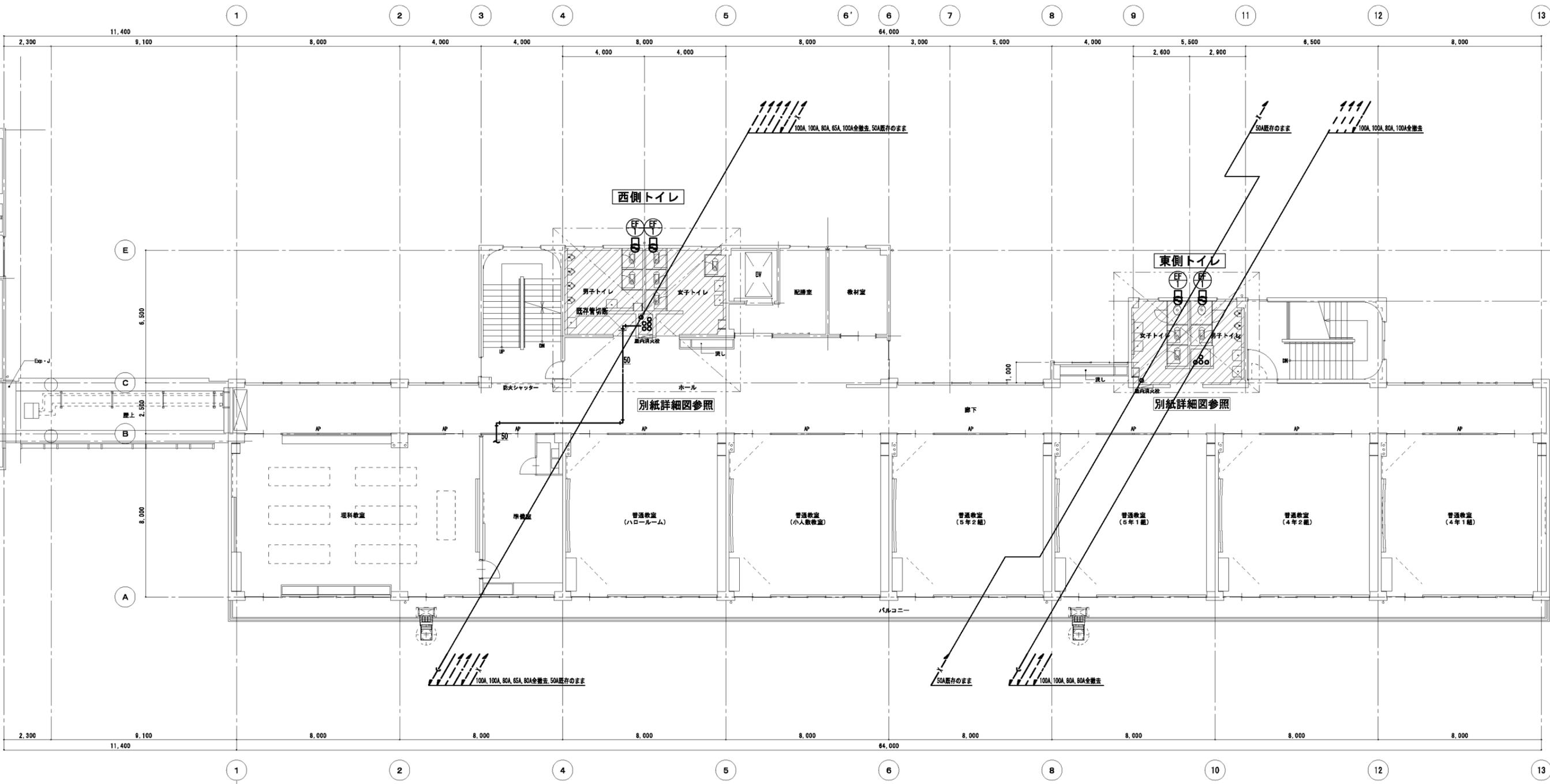
普通教室棟  
昭和60年竣工

管理普通教室棟  
昭和54年竣工

2階平面図(改修前) S=1/100

凡例

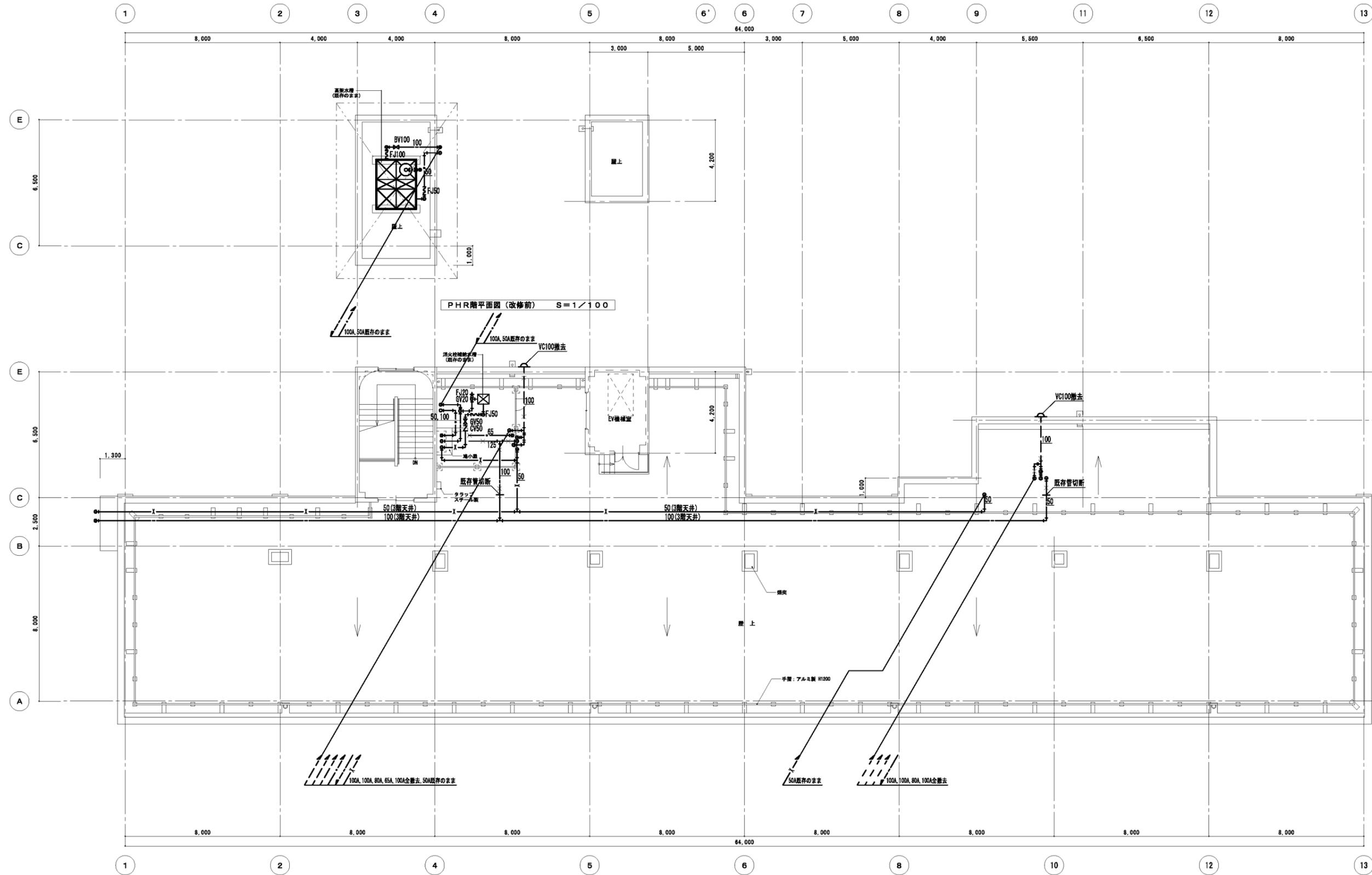
斜線: トイレ改修工事部分を表す。



3階平面図(改修前) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。

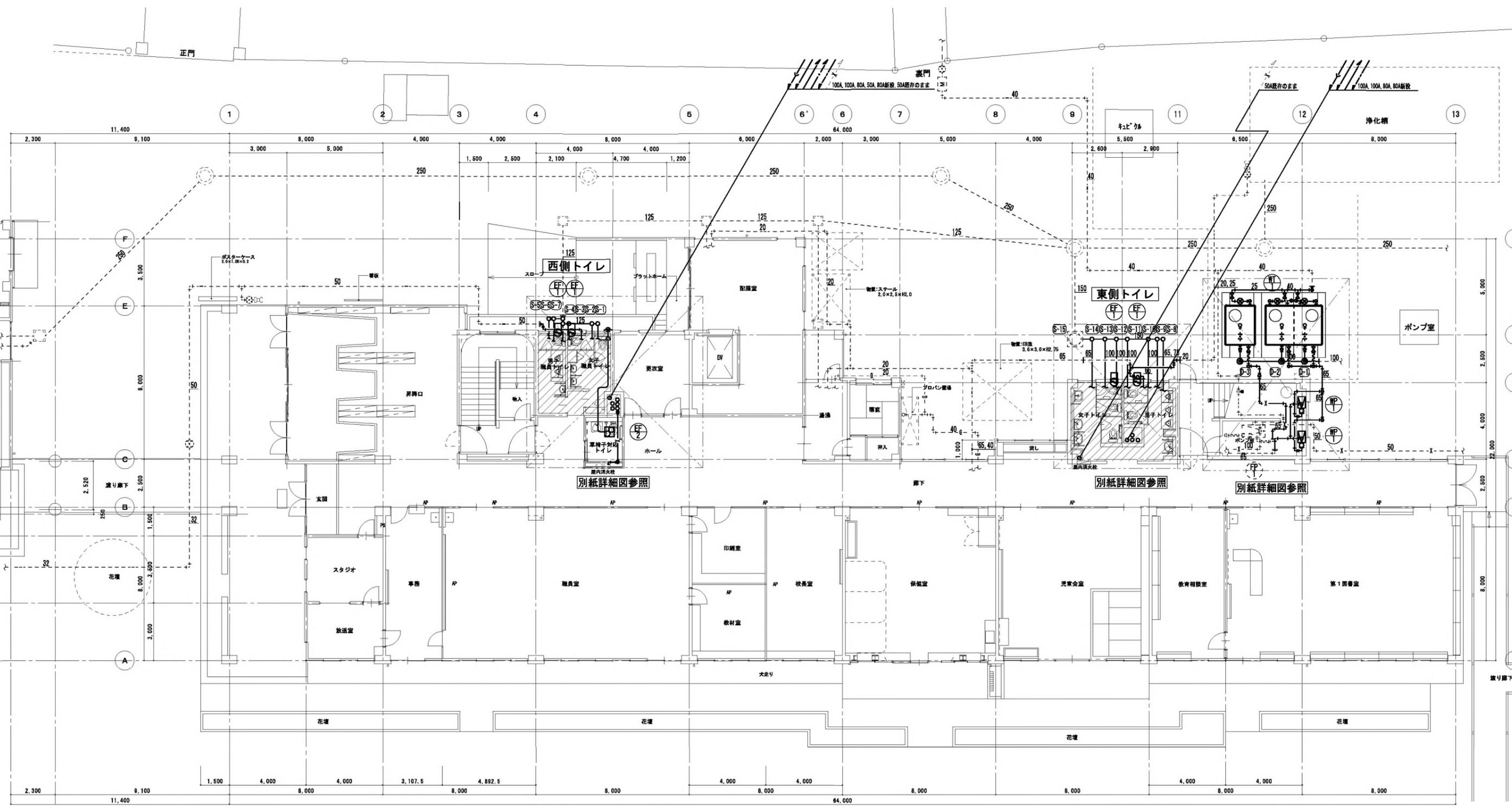
← 普通教室棟 昭和60年竣工  
→ 管理普通教室棟 昭和54年竣工



R階平面図 (改修前) S=1/100



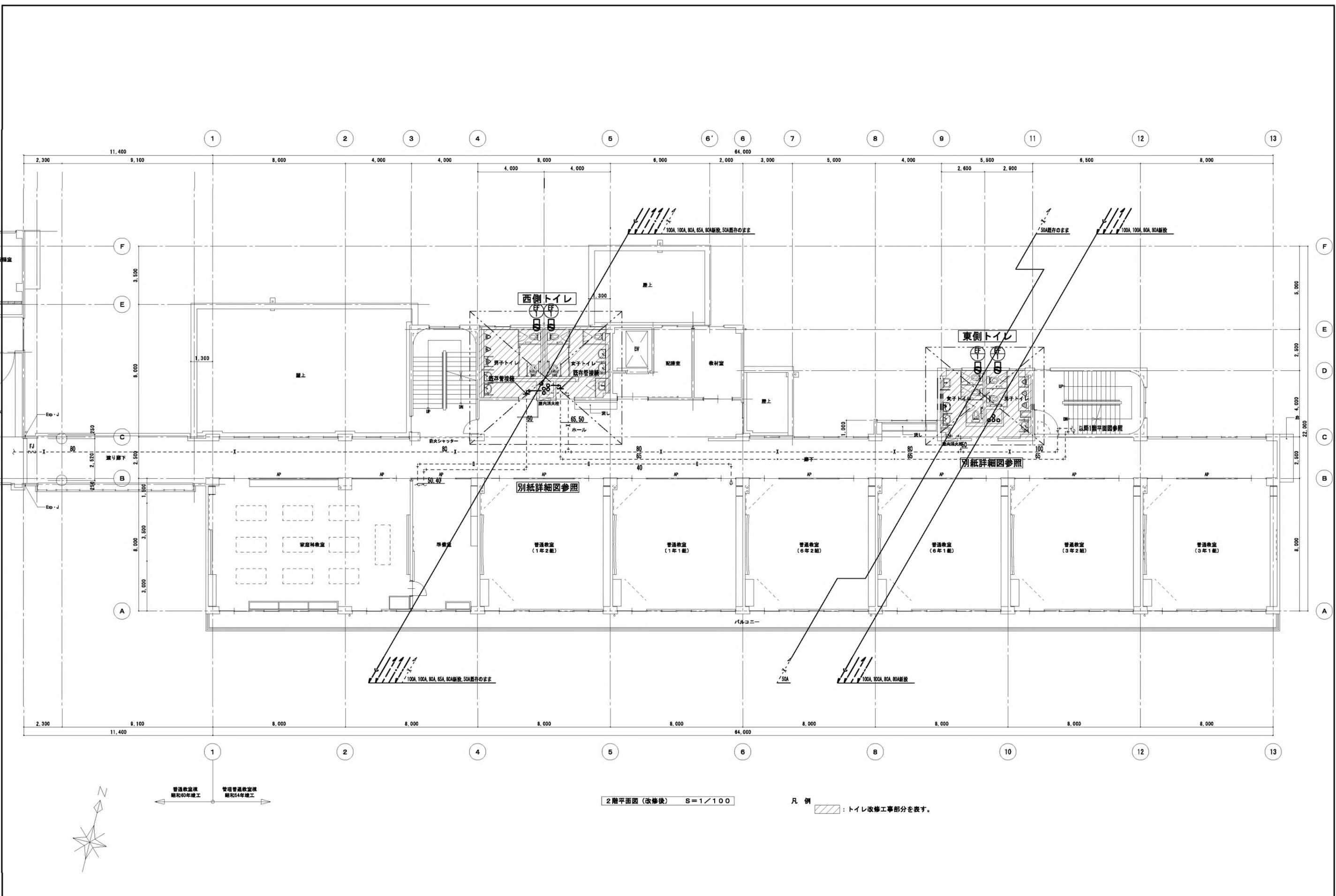
		春日部市 学校教育課	日付	工事名称	図面No.
			南校井小学校校舎トイレ改修工事	M-09	
			縮尺	図面名称	
			A1: 1/100 A3: 1/200	管理普通教室棟 R, P, H R階平面図 (改修前)	



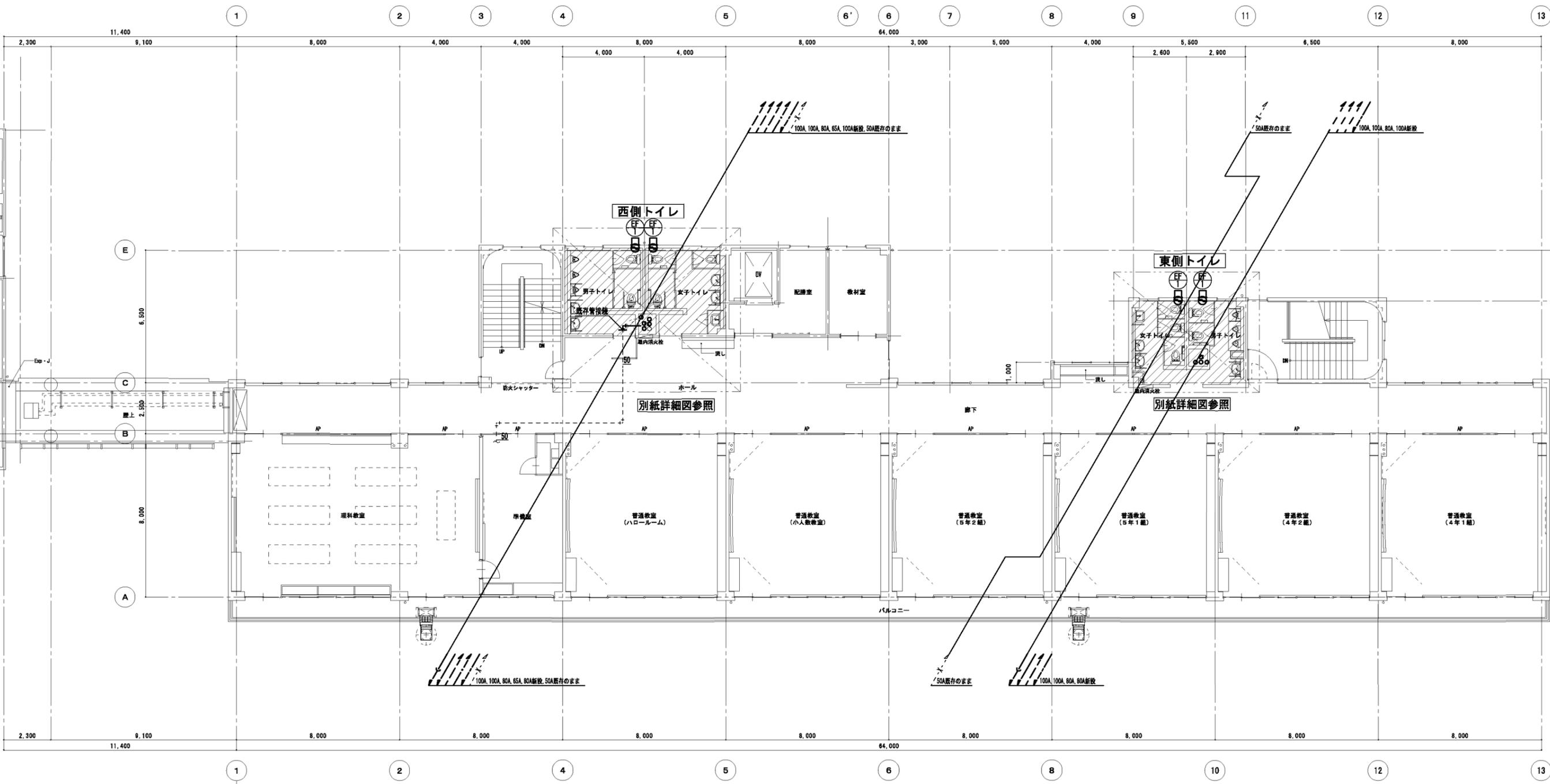
1階平面図(改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。

普通教室棟 昭和60年竣工  
管理普通教室棟 昭和54年竣工



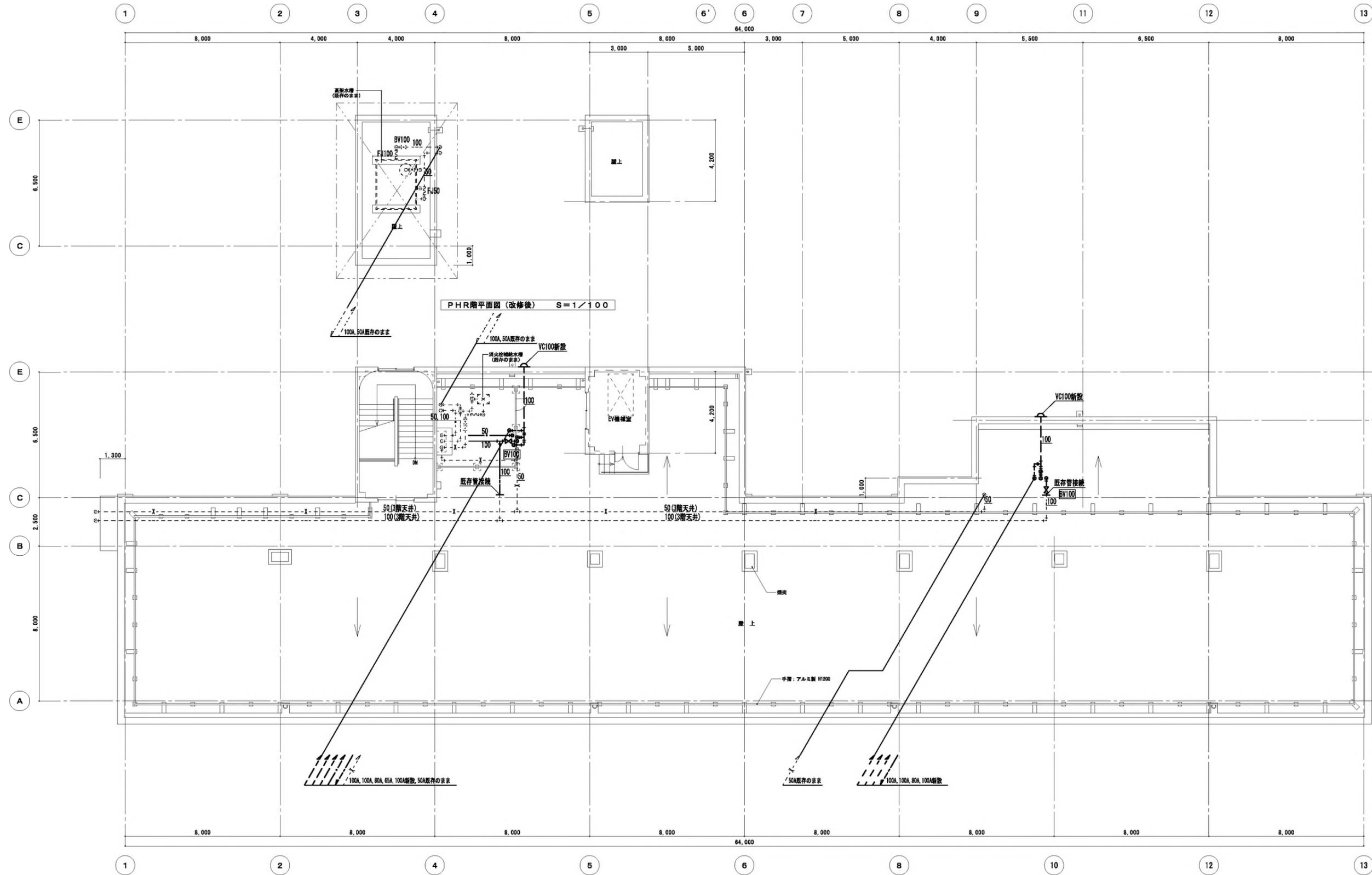
春日部市 学校教育課	日付	工事名称	図面No.
	南尺 A1: 1/100 A3: 1/200	南板井小学校校舎トイレ改修工事 管理普通教室棟 2階平面図(改修後)	M-11



3階平面図(改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修工事部分を表す。

← 普通教室棟 昭和60年竣工  
→ 管理普通教室棟 昭和54年竣工



R階平面図 (改修後) S=1/100



※撤去工事要領

1. 衛生器具及び手すりを撤去する。
2. 換気扇250φ及びびりザ-カーを撤去する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を、保温共撤去する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 1階の排水管は、樹接続部分まで及び図示汚水柵を撤去する。
6. 便器撤去後のスラブコンクリート補修及び仕上げは、建築工事とする。
7. ピット内の溜まり水を汲み取り・処分（6.5m3）、清掃・消毒する。

撤去管凡例

記号	名称	仕様
—x—x—	給水管（保温共）	給水用塩ビラインング鋼管（SGP-VP）
—x—C—x—	汚水管（保温共）	排水用鋼鉄管（メカニカル）
—x—x—x—	排水管（保温共）	配管用鋼管（白）
—x—x—x—	汚水・排水管（露外埋設）	硬質塩化ビニル管（VP）
—x—LP—x—	排水管（保温共）	排水用鉛管（HASS）
—x—x—x—	通気管	配管用鋼管（白）

アスファルト舗装の土間掘削及び補修範囲を示す

※改修工事要領

1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇250φ及びびりザ-カーを新設する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を新設する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 1階の排水管は、樹接続部分まで及び図示汚水柵を新設する。
6. 梁貫通スリーブは既存再使用とする。

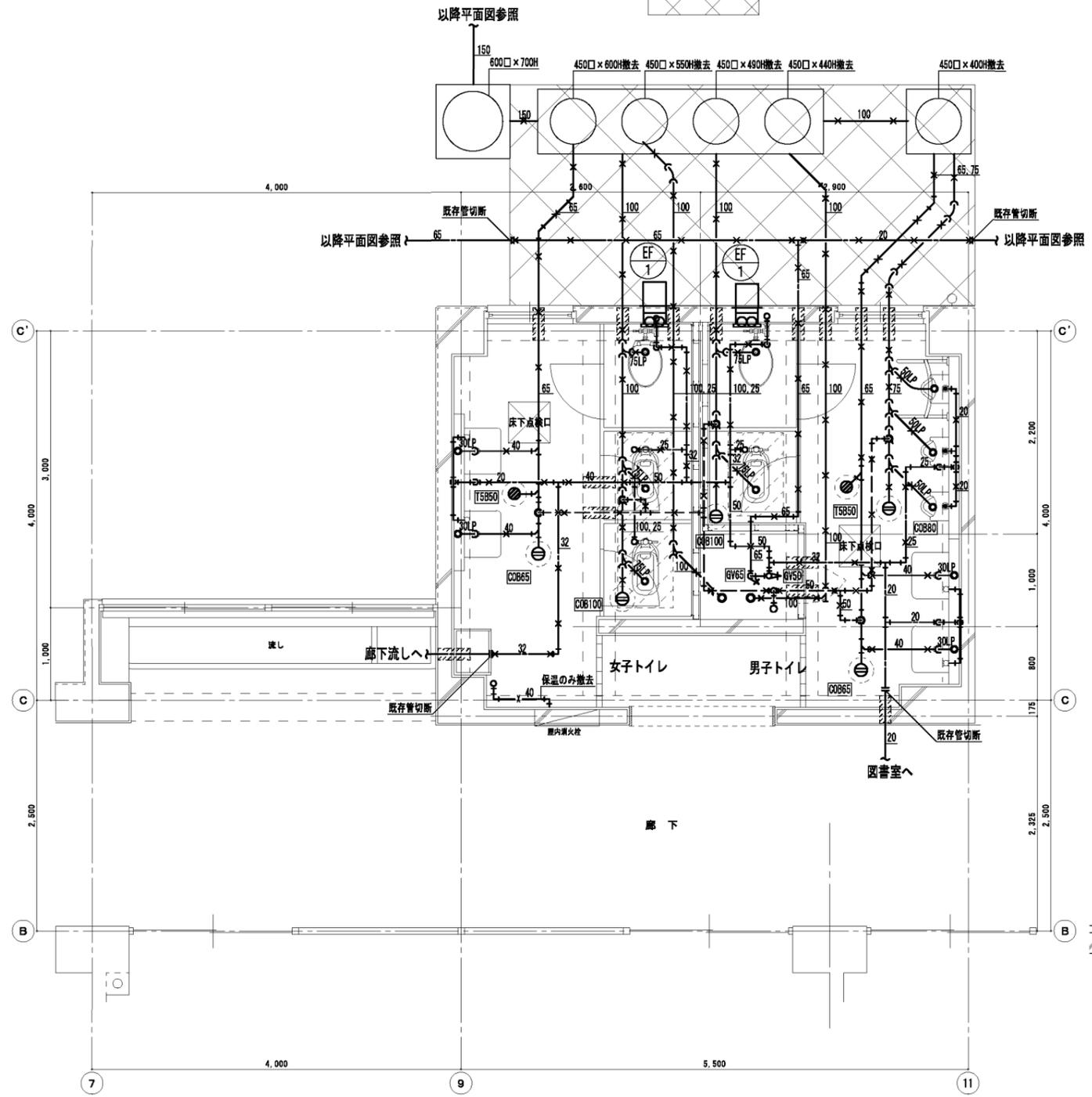
新設管凡例

記号	名称	仕様
—	給水管（保温共）	給水用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
—C—	汚水管（保温共）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	排水管（保温共）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	汚水・排水管（露外埋設）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
---	既存管	

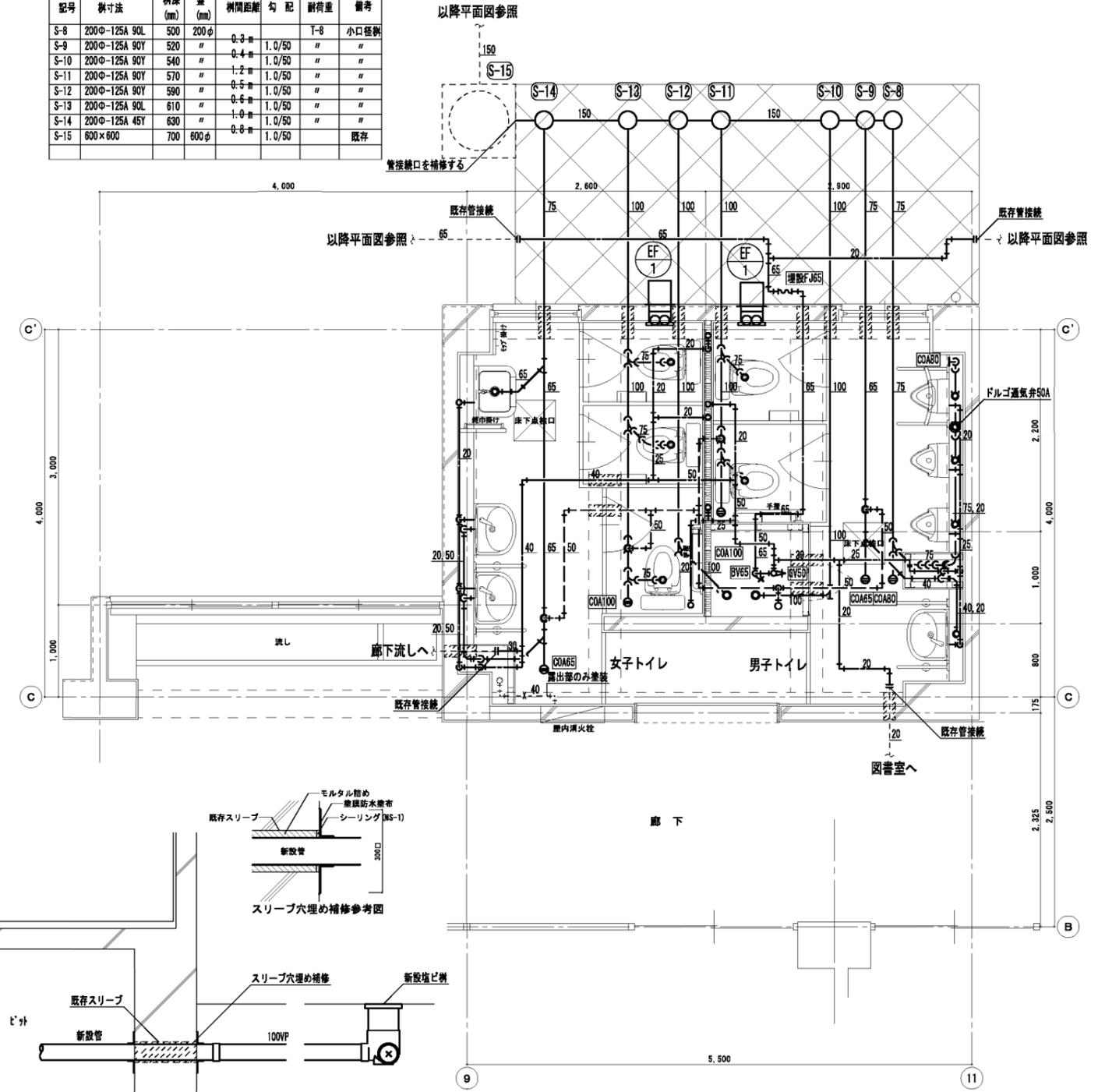
新設柵リスト

※ 柵深さは設計図からの深さとする。

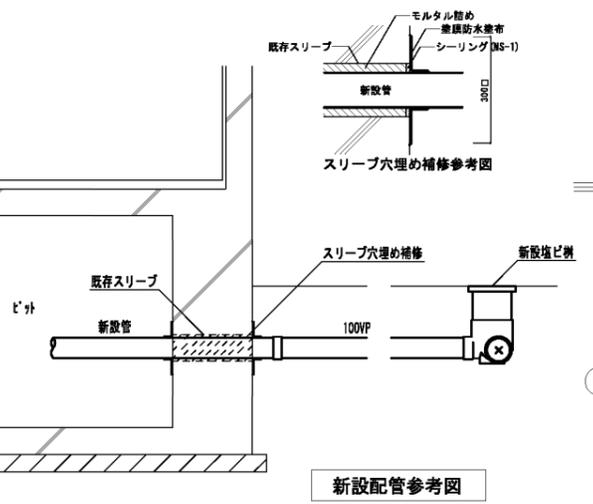
記号	柵寸法	柵深 (mm)	柵間距離 (mm)	勾配	耐荷重	備考
S-8	200φ-125A 90L	500	200φ	0.3%	T-8	小口径柵
S-9	200φ-125A 90Y	520	"	1.0/50	"	"
S-10	200φ-125A 90Y	540	"	1.0/50	"	"
S-11	200φ-125A 90Y	570	"	1.0/50	"	"
S-12	200φ-125A 90Y	590	"	0.5%	1.0/50	"
S-13	200φ-125A 90L	610	"	0.6%	1.0/50	"
S-14	200φ-125A 45Y	630	"	1.0%	1.0/50	"
S-15	600φ×600	700	600φ	0.8%	1.0/50	既存



1階平面詳細図（改修前） S=1/30



1階平面詳細図（改修後） S=1/30



新設配管参考図

※撤去工事要領

1. 衛生器具及び手すりを撤去する。
2. 換気扇250φ及びびりエザ-カバーを撤去する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を、保温共撤去する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 便器撤去後のスラブコンクリート補修及び仕上げは、建築工事とする。

撤去管凡例

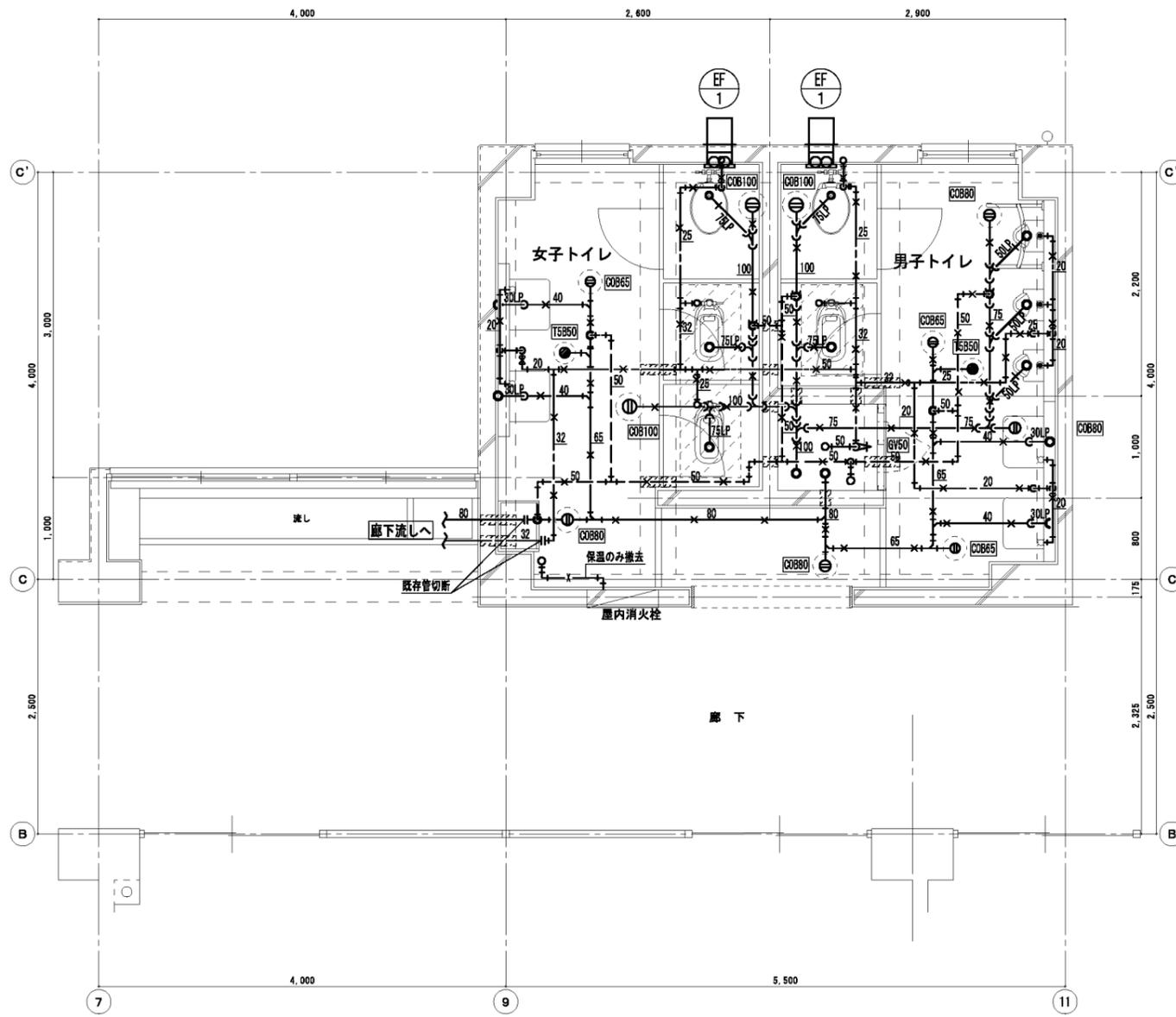
記号	名称	仕様
—x—x—	給水管（保温共）	給水用塩ビライニング鋼管（SGP-VP）
—x—C—x—	汚水管（保温共）	排水用鋼鉄管（メカニカル）
—x—x—	排水管（保温共）	配管用鋼管（白）
—x—LP—x—	排水管（保温共）	排水用鉛管（HASS）
—x—x—	通気管	配管用鋼管（白）

※改修工事要領

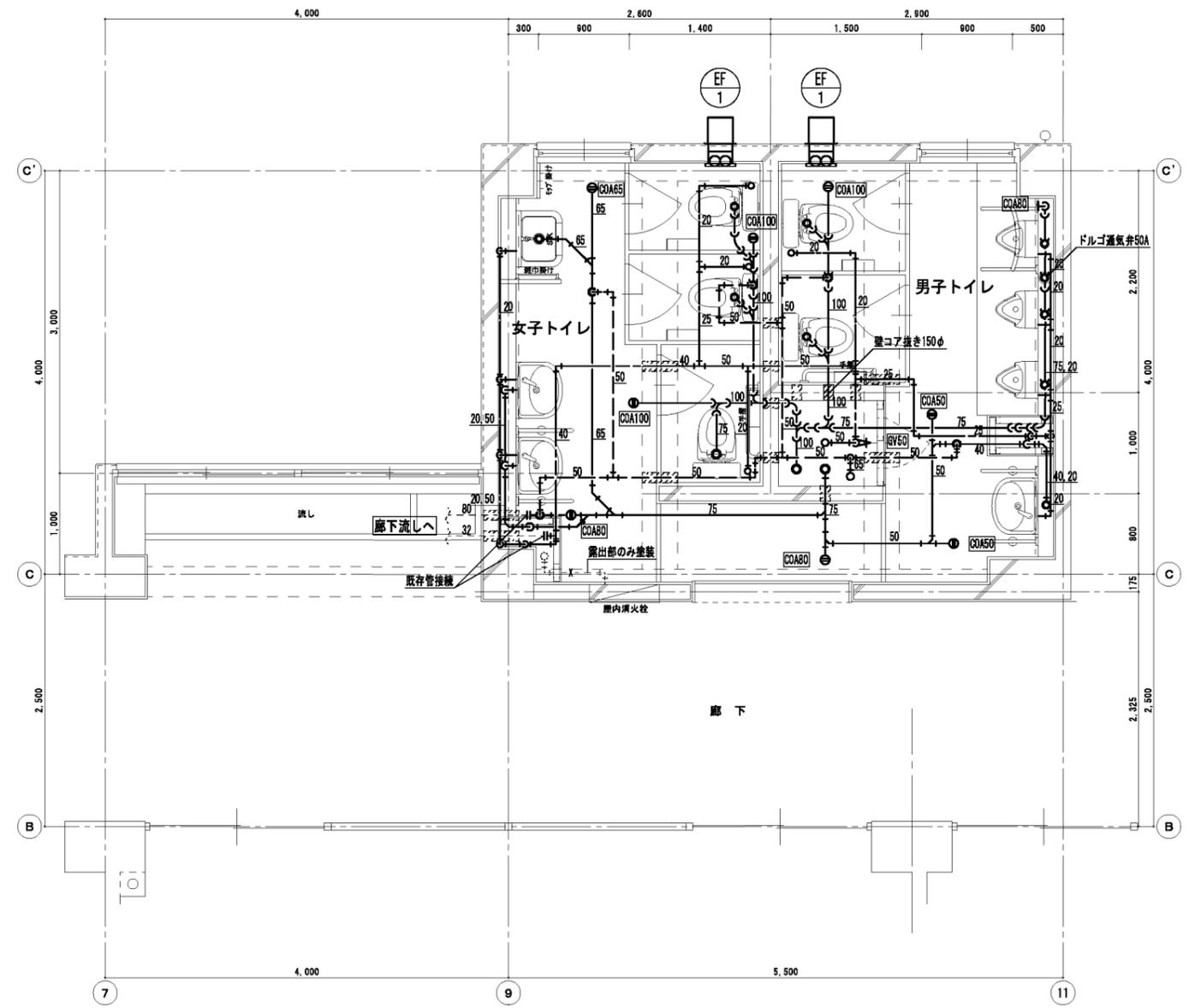
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇250φ及びびりエザ-カバーを新設する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を新設する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 梁貫通スリーブは既存再使用とする。

新設管凡例

記号	名称	仕様
—x—x—	給水管（保温共）	給水用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
—x—C—x—	汚水管（保温なし）	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—x—x—	排水管（保温なし）	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—x—x—	通気管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—x—x—	既存管	



2、3階平面詳細図（改修前） S=1/30



2、3階平面詳細図（改修後） S=1/30

※撤去工事要領

1. 衛生器具及び手すりを撤去する。
2. 換気扇250φ及びびげア-ガ-を撤去する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を、保温共撤去する。
4. 消火栓箱及び配管を撤去する、堅管は既存のままとする。
5. 1階の排水管は、樹接続部分まで及び図示汚水樹を撤去する。
6. 便器撤去後のスラブコンクリート補修及び仕上げは、建築工事とする。
7. ピット内の溜まり水を汲み取り・処分（5.4m<sup>3</sup>）、清掃・消毒する。

撤去管凡例

記号	名称	仕様
—×—	給水管（保温共）	給水用塩ビライニング鋼管（SGP-VP）
—C—	汚水管（保温共）	排水用鋼鉄管（メカニカル）
—×—	排水管（保温共）	配管用鋼管（白）
—×—	汚水・排水管（屋外埋設）	硬質塩化ビニル管（VP）
—LP—	排水管（保温共）	排水用鉛管（HASS）
—×—	通気管	配管用鋼管（白）

土間鋼網・埋め戻し範囲を示す

※改修工事要領

1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇250φ及びびげア-ガ-及び、車いす対応トイレの天井扇・ダクトを新設する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を新設する。
4. 消火栓箱及び配管を更新する、堅管は既存を再使用する。
5. 1階の排水管は、樹接続部分まで及び図示汚水樹を新設する。
6. 梁貫通スリーブは既存再使用とする。図示配管及びダクト用のコア抜きを新設する。

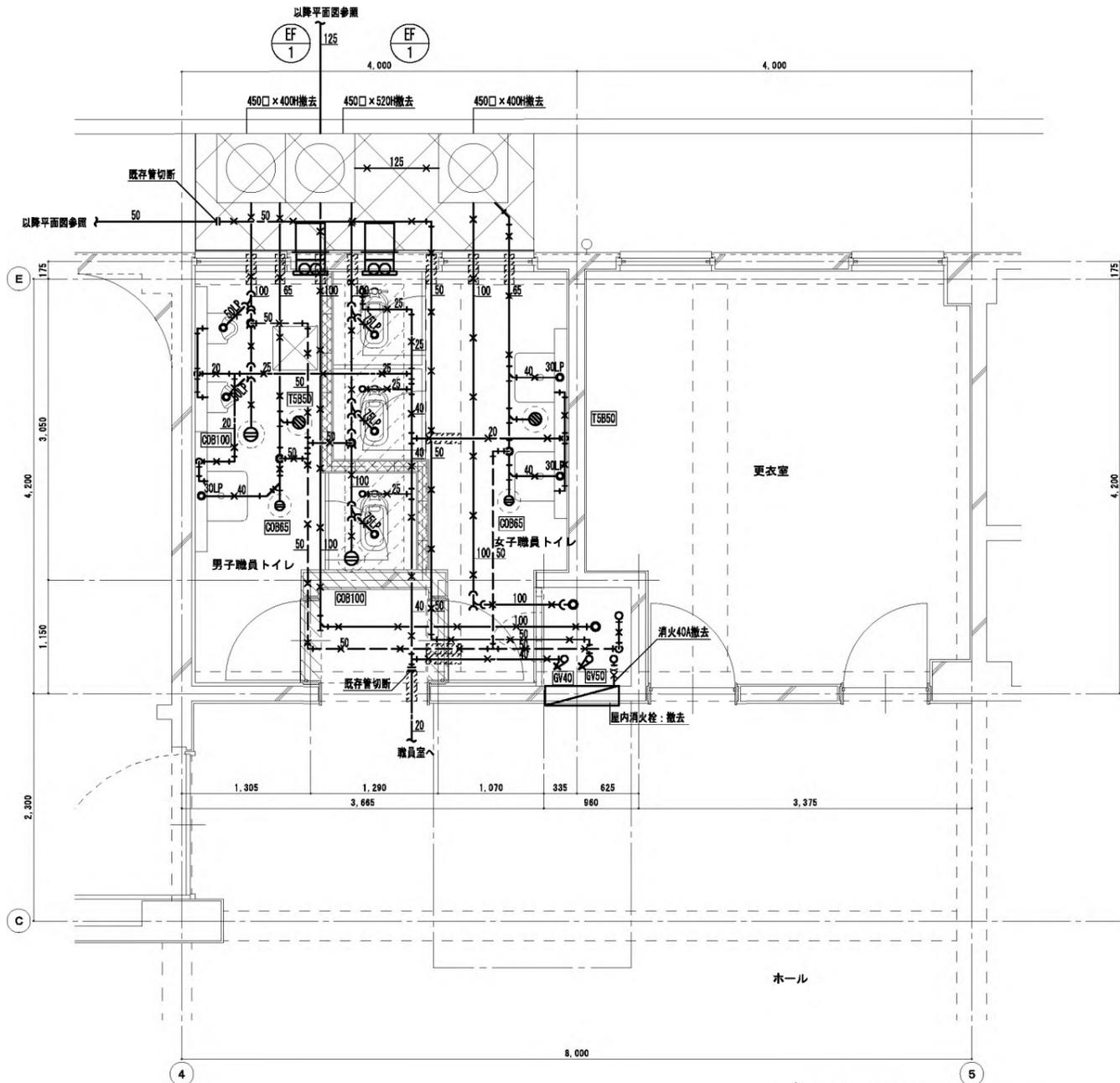
新設樹リスト

※ 樹深さは設計図からの深さとする。

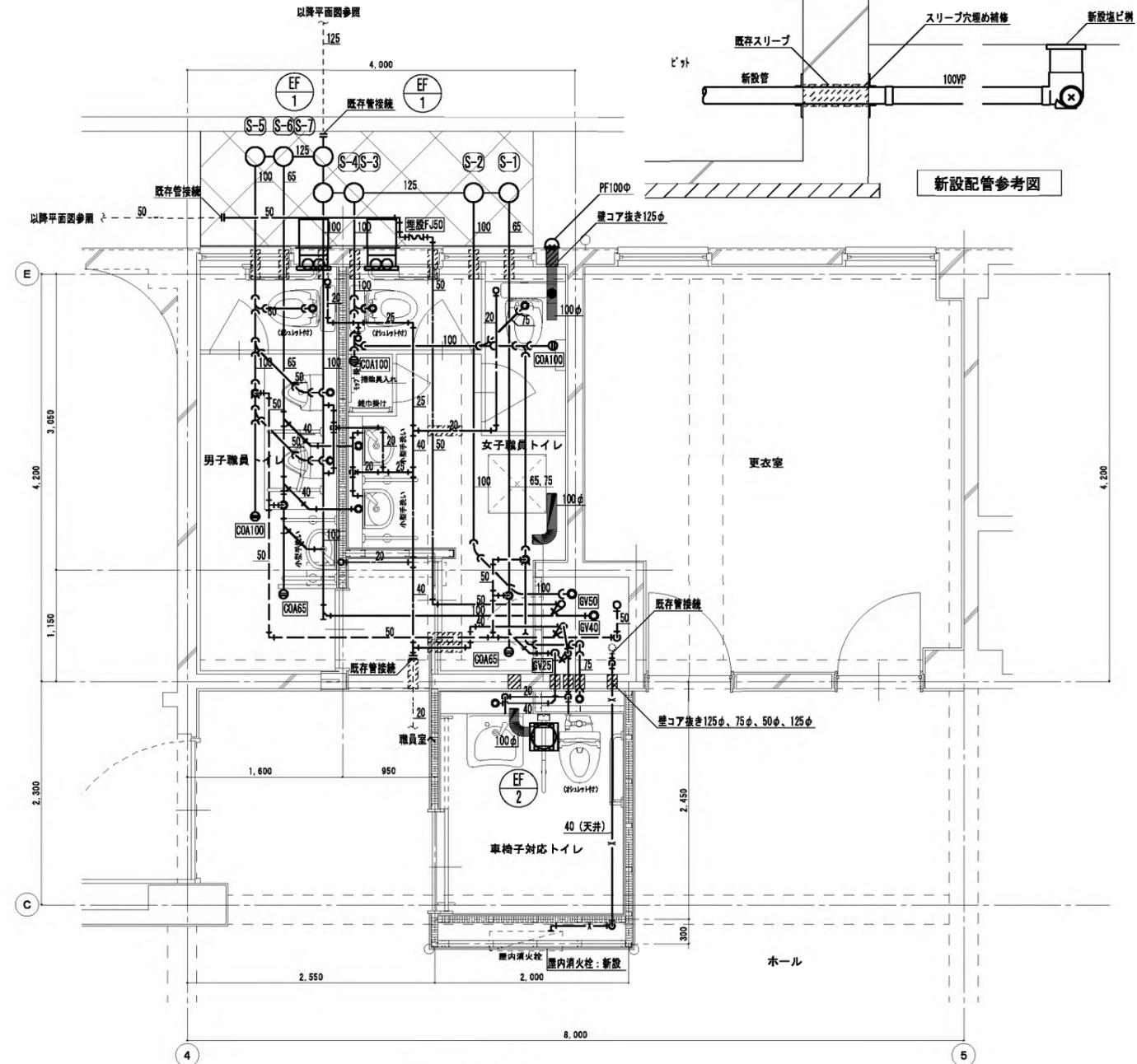
記号	樹寸法	樹深 (mm)	樹間距離 (mm)	勾配	耐荷重	備考
S-1	200φ-125A 90L	450	200φ	0.4	T-8	小口径樹
S-2	200φ-125A 90Y	460	"	1.0/50	"	"
S-3	200φ-125A 90Y	470	"	1.0/50	"	"
S-4	200φ-125A 90Y	480	"	0.3	"	"
S-5	200φ-125A 90Y	480	"	0.4	"	"
S-6	200φ-125A 90L	490	"	0.3	"	"
S-7	200φ-125A 45Y	500	"	0.4	"	"

新設管凡例

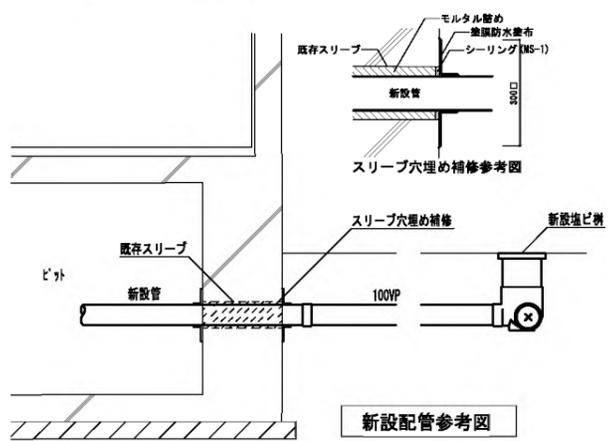
記号	名称	仕様
—×—	給水管（保温共）	給水用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
—C—	汚水管（保温共）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—×—	排水管（保温共）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—×—	汚水・排水管（屋外埋設）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	既存管	
—	換気ダクト	スパイラルダクト



1階平面詳細図 (改修前) S=1/30



1階平面詳細図 (改修後) S=1/30



新設配管参考図

凡例: コンクリートブロック100を表す。

※撤去工事要領

1. 衛生器具及び手すりを撤去する。
2. 換気扇250φ及びびりザ-カバーを撤去する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を、保温共撤去する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 便器撤去後のスラブコンクリート補修及び仕上げは、建築工事とする。

撤去管凡例

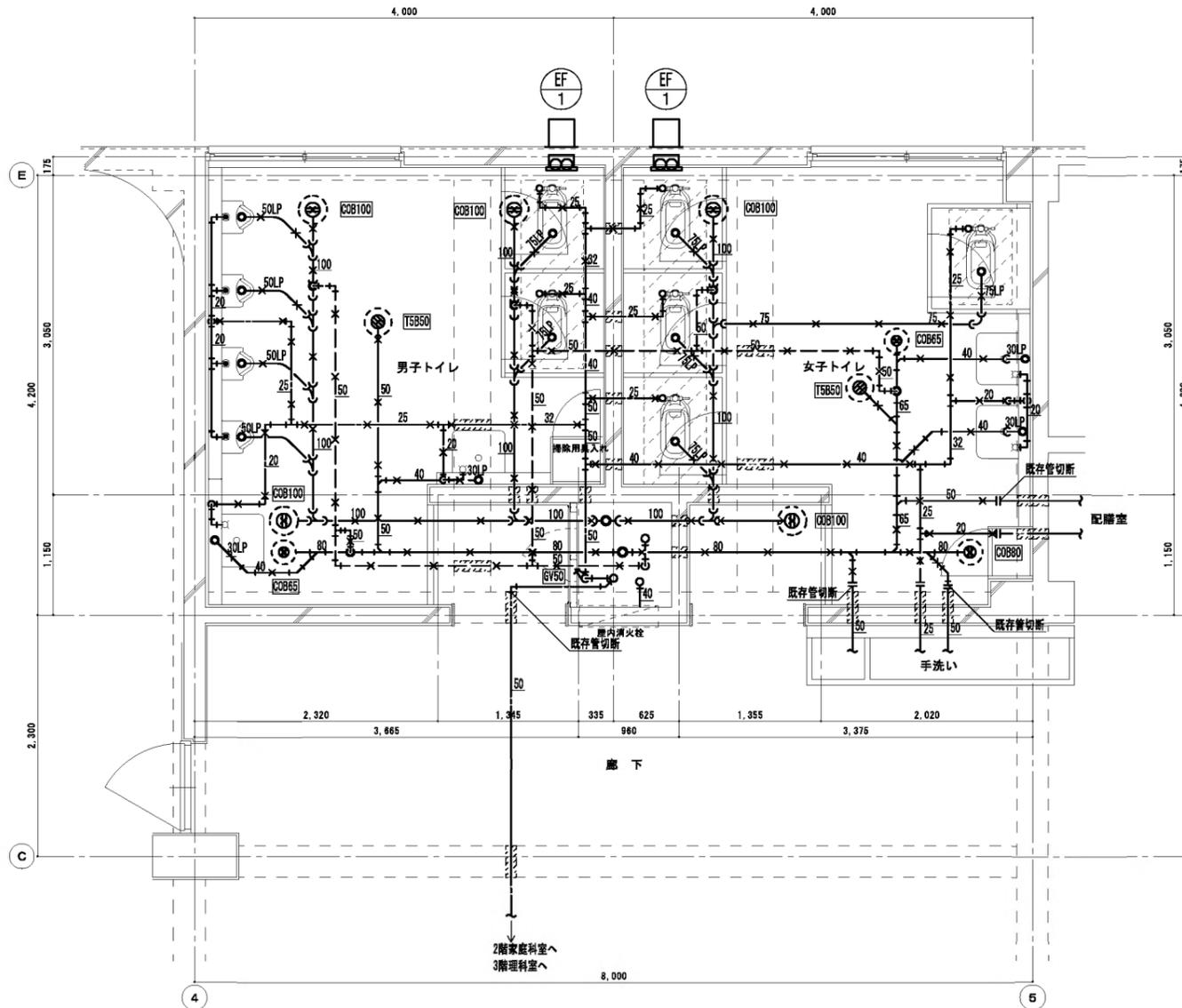
記号	名称	仕様
—×—×—	給水管（保温共）	給水用塩ビライニング鋼管（SGP-VP）
—■—■—	汚水管（保温共）	排水用鋼鉄管（メカニカル）
—×—×—	排水管（保温共）	配管用鋼管（白）
—LP—	排水管（保温共）	排水用鉛管（HASS）
—×—×—	通気管	配管用鋼管（白）

新設管凡例

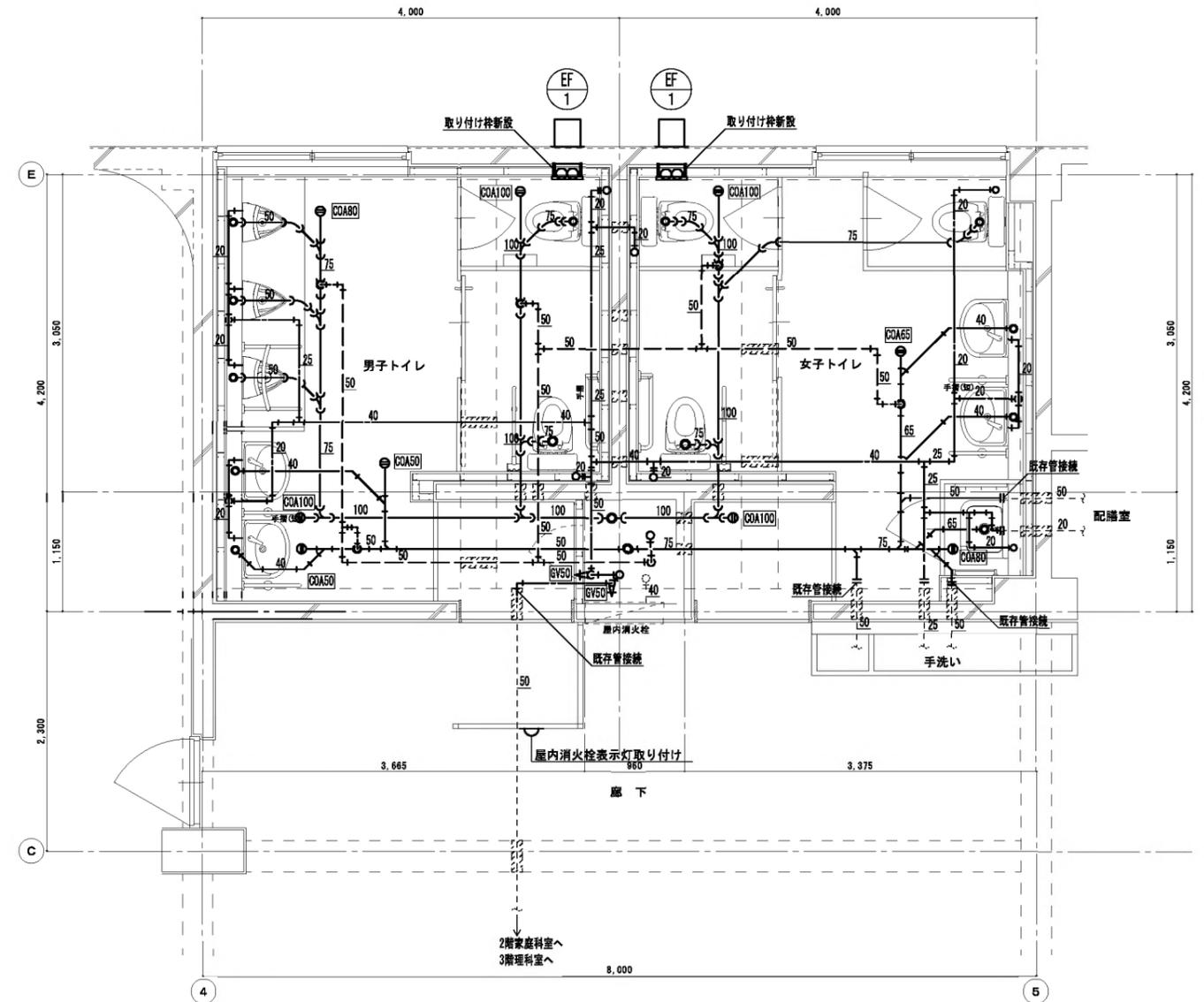
記号	名称	仕様
—●—●—	給水管（保温共）	給水用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
—■—■—	汚水管（保温なし）	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—●—●—	排水管（保温なし）	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—●—●—	通気管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—●—●—	既存管	

※改修工事要領

1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇250φ及びびりザ-カバー、取り付け枠を新設する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を新設する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 梁貫通スリーブは既存再使用とする。

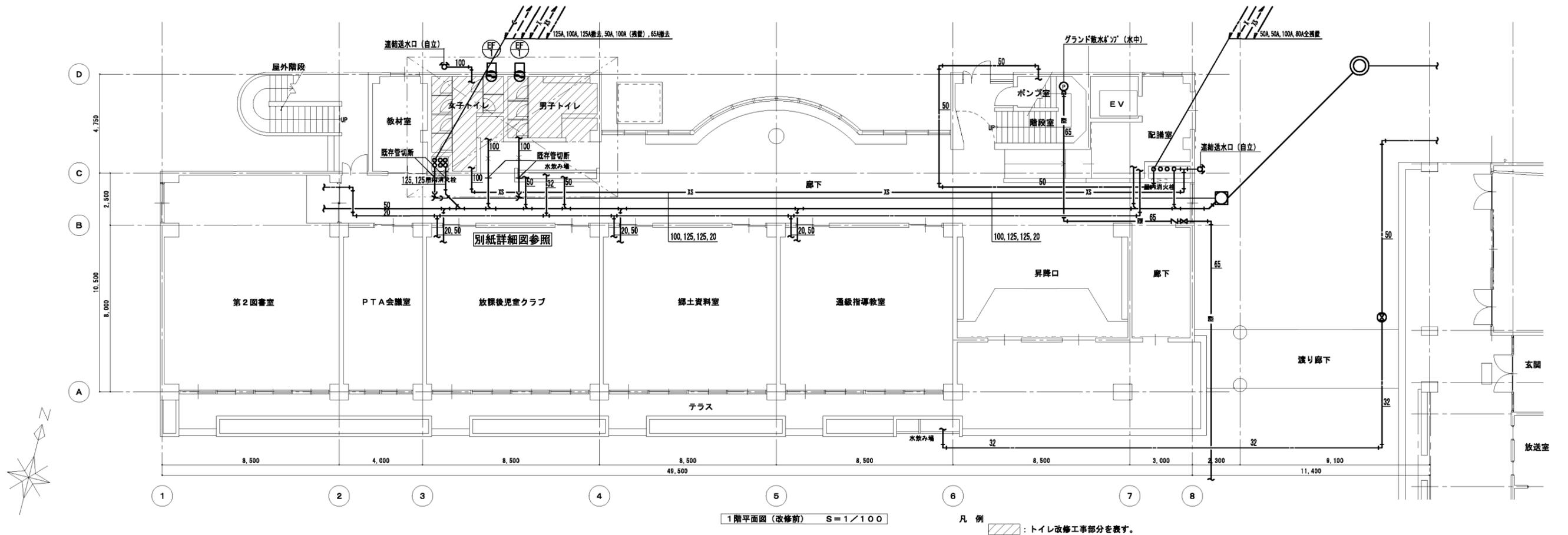


2, 3階平面詳細図（改修前） S=1/30

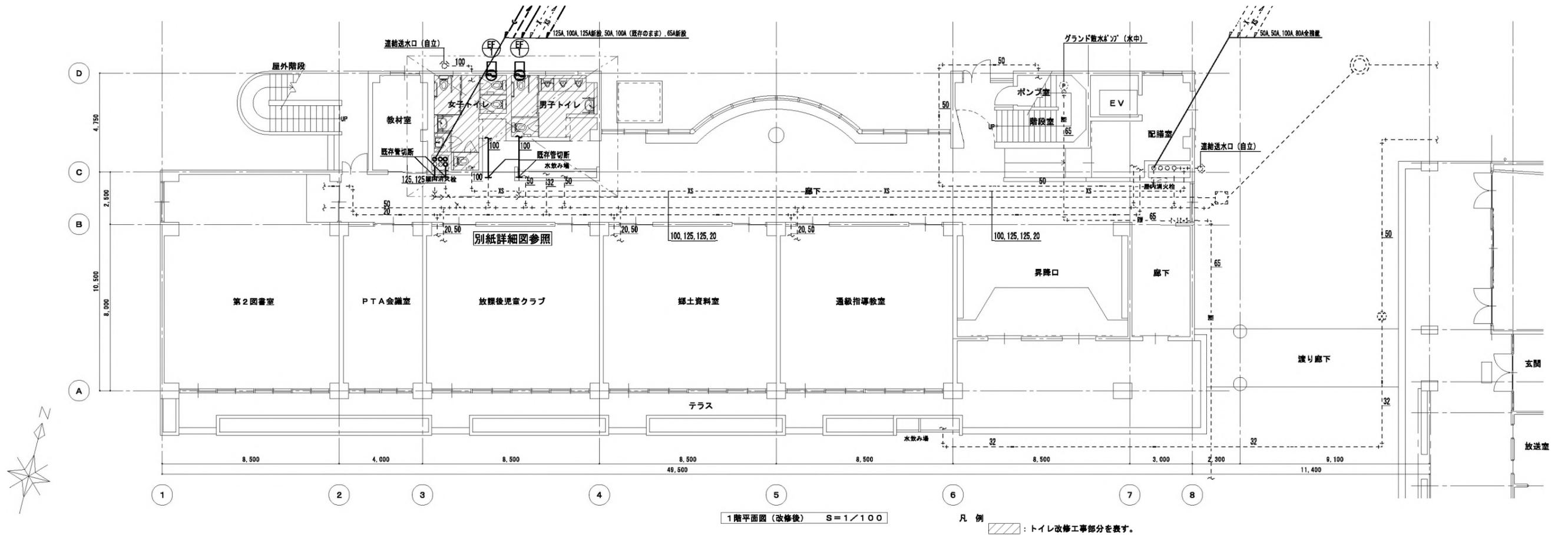


2, 3階平面詳細図（改修後） S=1/30

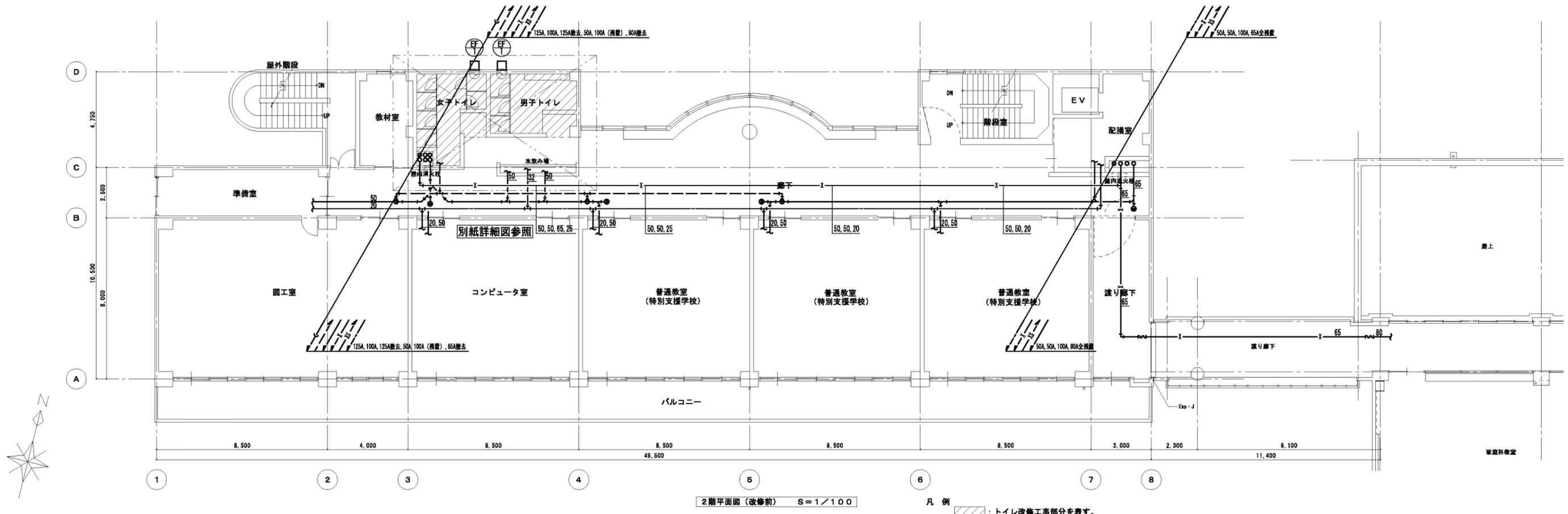
改修前



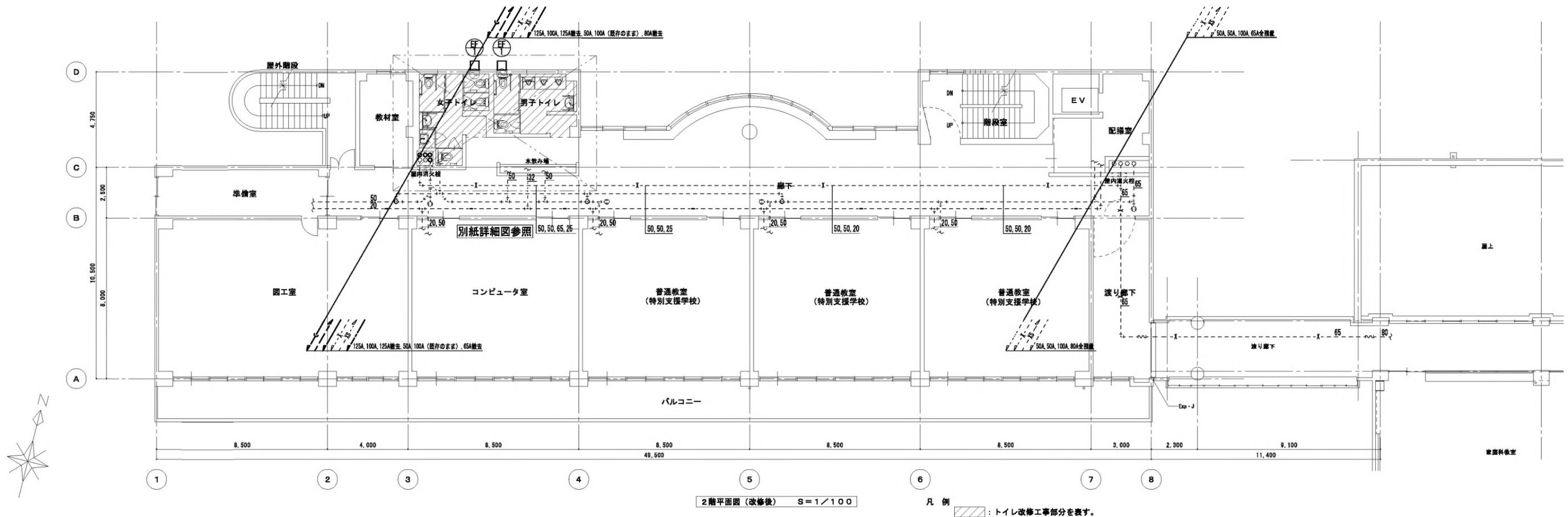
改修後



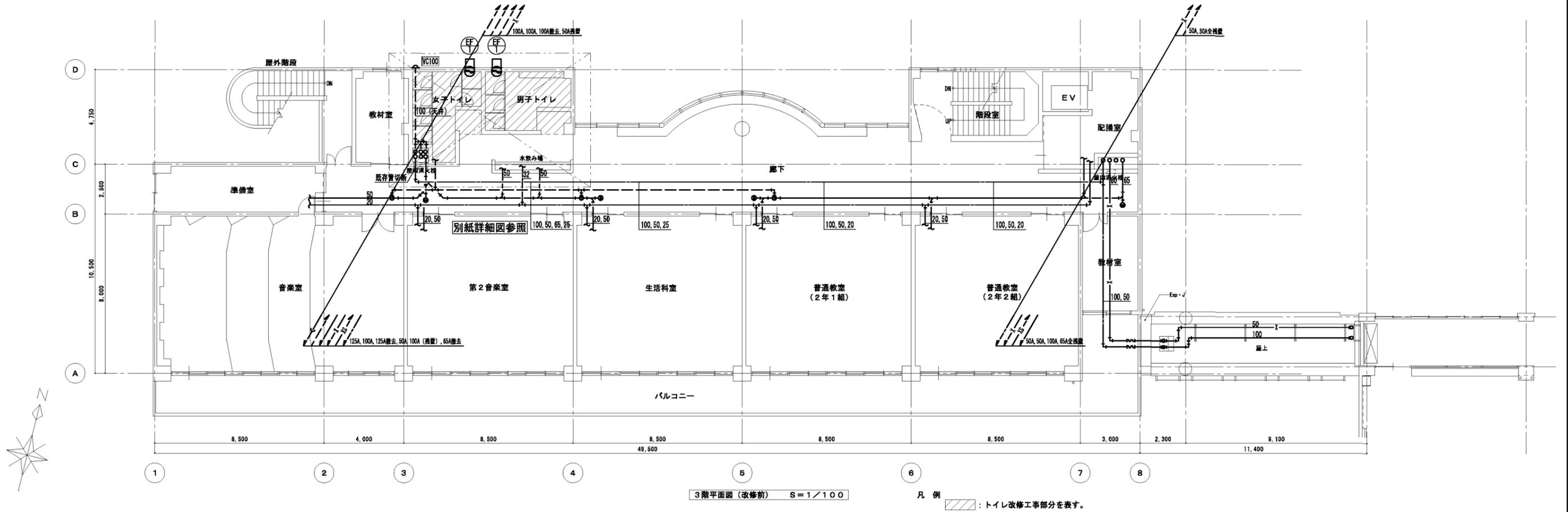
改修前



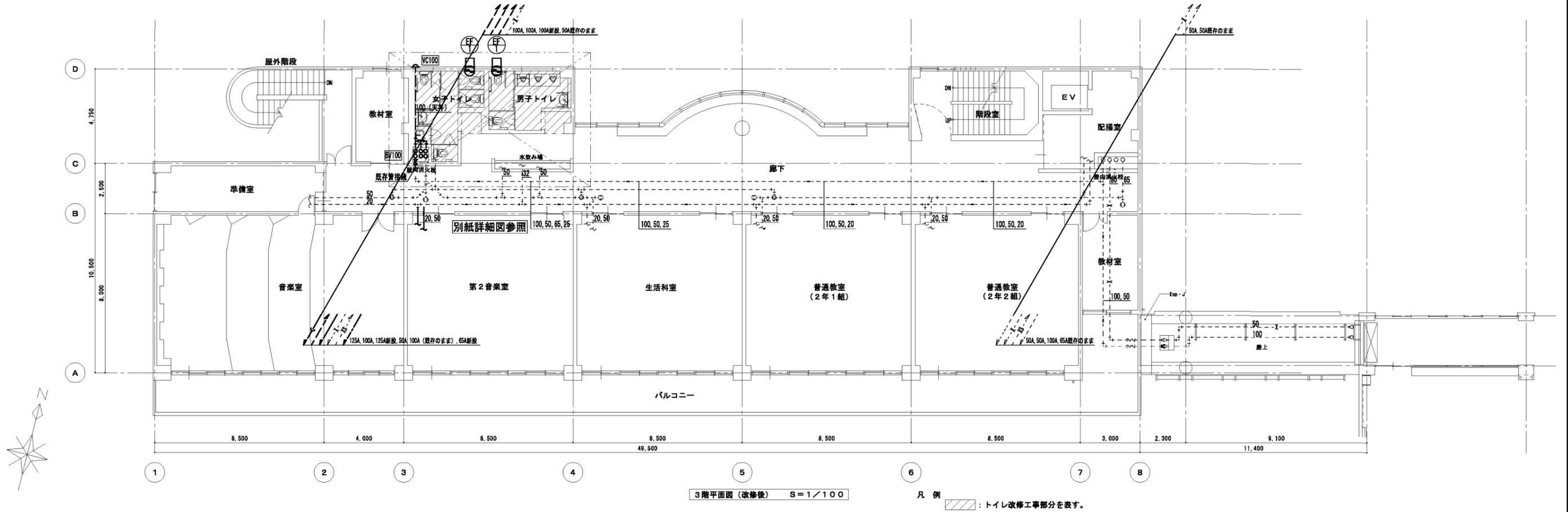
改修後



改修前



改修後



※撤去工事要領

1. 衛生器具及び手すりを撤去する。
2. 換気扇250φ及びびりザ-ガ-を撤去する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を、保温共撤去する。
4. 消火栓及び連結送水配管は既存のままとする。
5. 1階の排水管は図示横主管接続部分までを撤去する。
6. 水飲み場の給排水管及び水栓は既存のままとする。
7. 便器撤去後のスラブコンクリート補修及び仕上げは、建築工事とする。
8. 水飲み場給水管に仮設用仕切弁を取り付ける。
9. ピット内の溜まり水を汲み取り・処分（12m<sup>3</sup>）、清掃・消毒する。

撤去管凡例

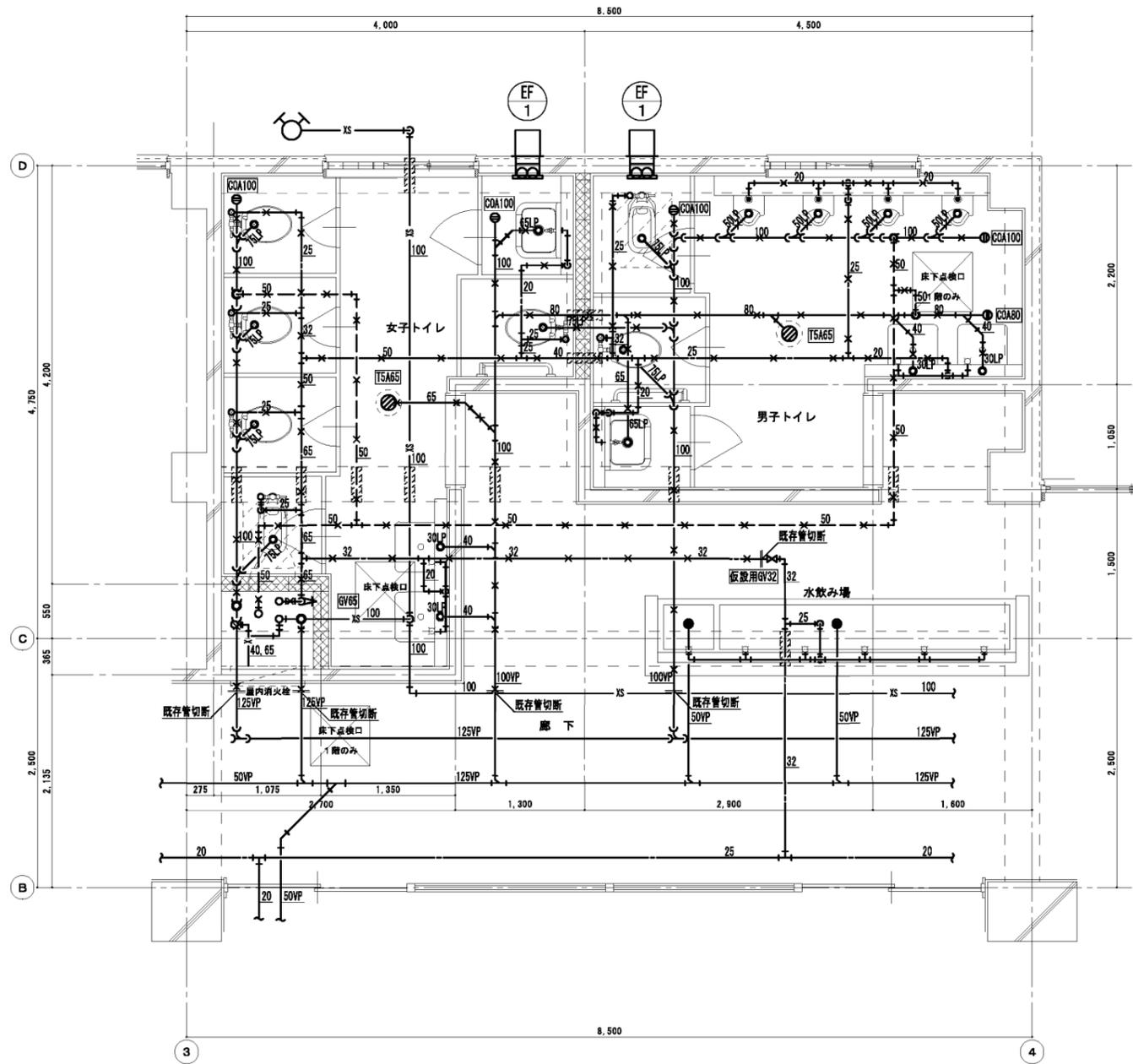
記号	名称	仕様
—x—x—	給水管（保温共）	給水用塩ビラインング鋼管（SGP-VP）
—x—C—x—	汚水管（保温共）	排水用鋼鉄管（メカニカル）
—x—x—	排水管（保温共）	配管用鋼管（白）
—x—x—	汚水・排水管（露外埋設）	硬質塩化ビニル管（VP）
—x—LP—x—	排水管（保温共）	排水用鉛管（HASS）
—x—x—	通気管	配管用鋼管（白）
—xs—	連結送水管	配管用鋼管（白）

新設管凡例

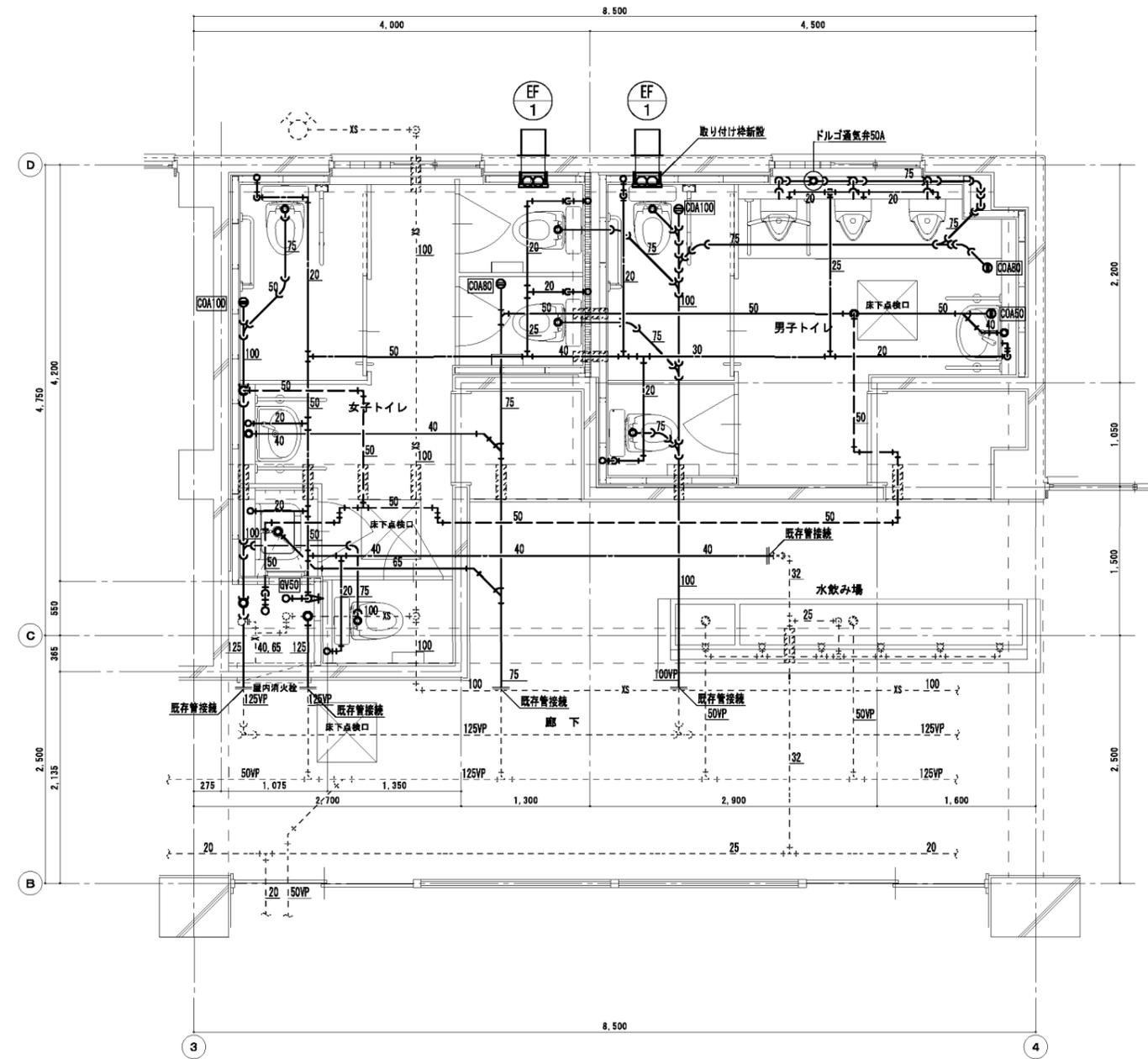
記号	名称	仕様
—	給水管（保温共）	給水用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
—C—	汚水管（保温共）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	排水管（保温共）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	汚水・排水管（露外埋設）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—	既存管	

※改修工事要領

1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇250φ及びびりザ-ガ-取り付け枠を新設する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を新設する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 1階の排水管は図示横主管接続部分に接続する。
6. 水飲み場の給水管に接続する。
7. 梁貫通スリーブは既存再使用とする。
8. 水飲み場給水管の仮設用仕切弁は取り付けたままとする。



1階平面詳細図（改修前） S=1/30



1階平面詳細図（改修後） S=1/30

※撤去工事要領

1. 衛生器具及び手すりを撤去する。
2. 換気扇250φ及びびりガ-ガ-を撤去する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を、保温共撤去する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 便器撤去後のスラブコンクリート補修及び仕上げは、建築工事とする。
6. 水飲み場給水管に仮設用仕切弁を取り付ける。

撤去管凡例

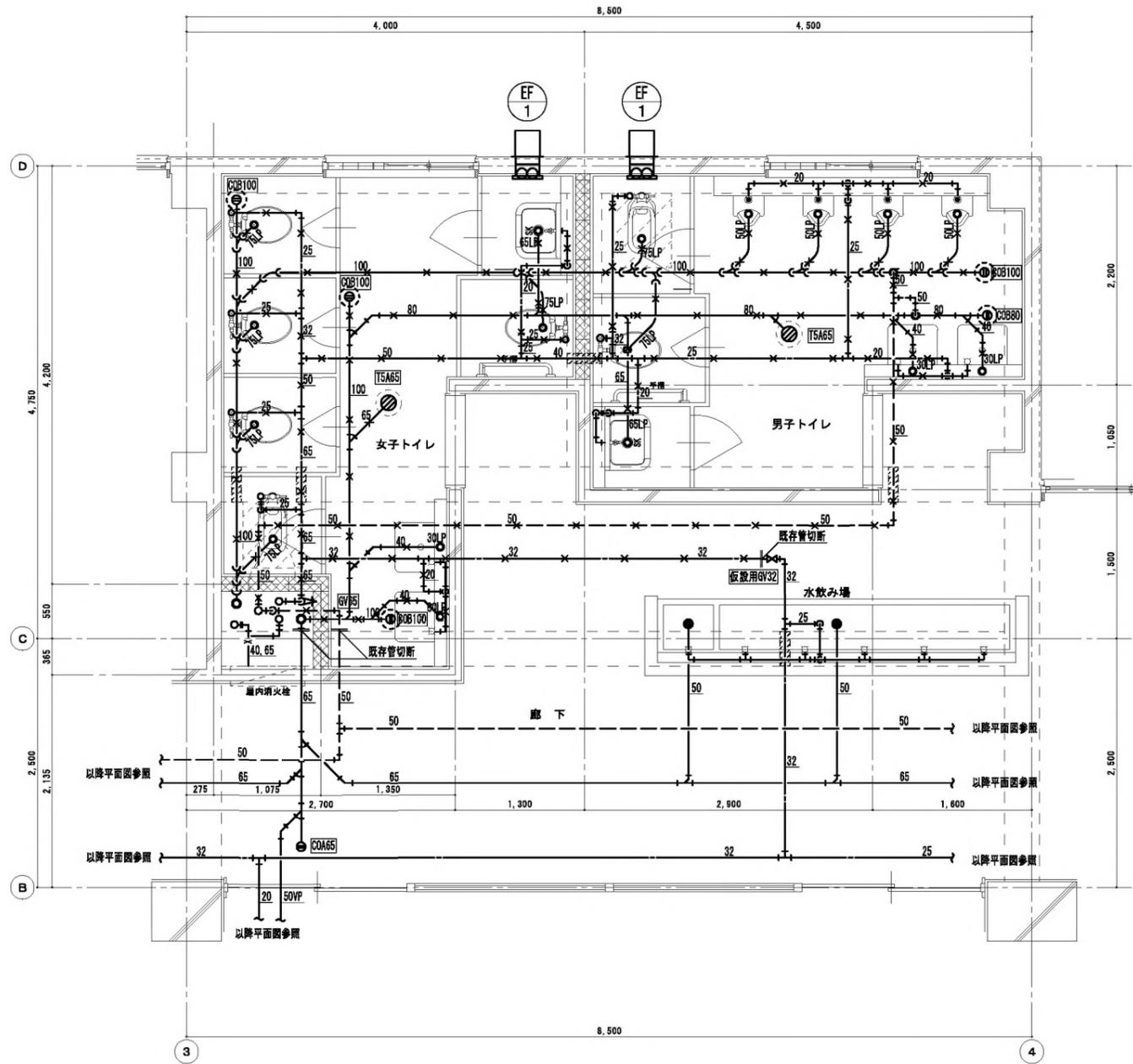
記号	名称	仕様
—×—×—	給水管（保温共）	給水用塩ビライニング鋼管（SGP-VP）
—×—×—	汚水管（保温共）	排水用鋼鉄管（メカニカル）
—×—×—	排水管（保温共）	配管用鋼管（白）
—×—LP—×—	排水管（保温共）	排水用鉛管（HASS）
—×—×—	通気管	配管用鋼管（白）

新設管凡例

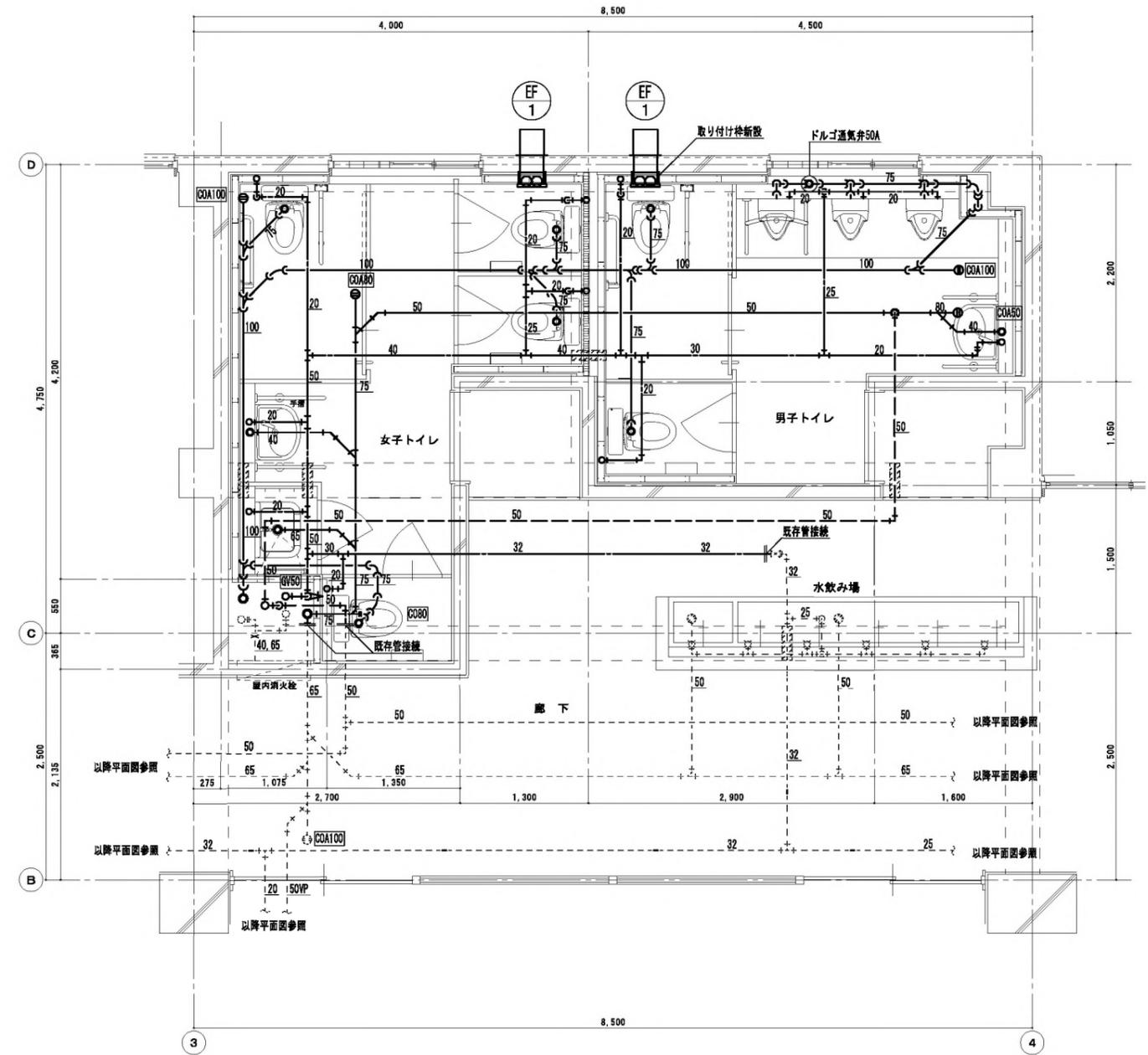
記号	名称	仕様
—○—○—	給水管（保温共）	給水用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
—○—○—	汚水管（保温なし）	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—○—○—	排水管（保温なし）	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—○—○—	通気管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—○—○—	既存管	

※改修工事要領

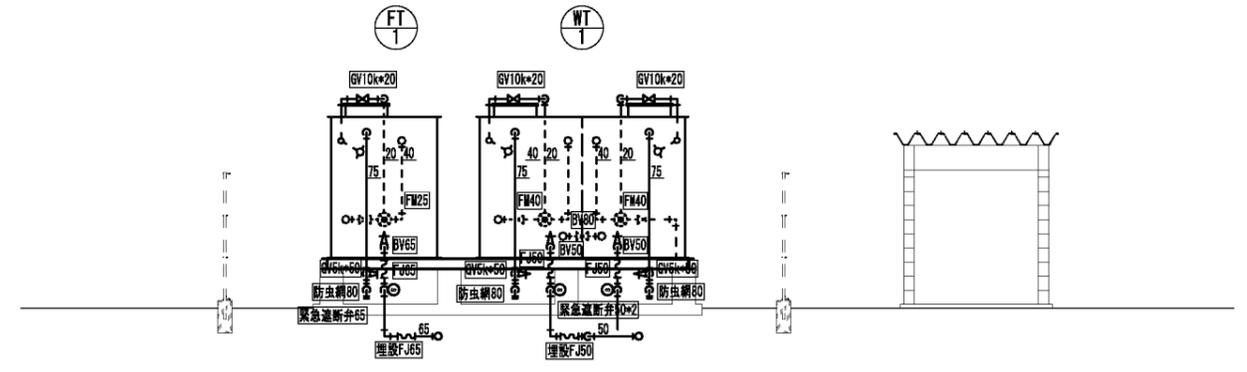
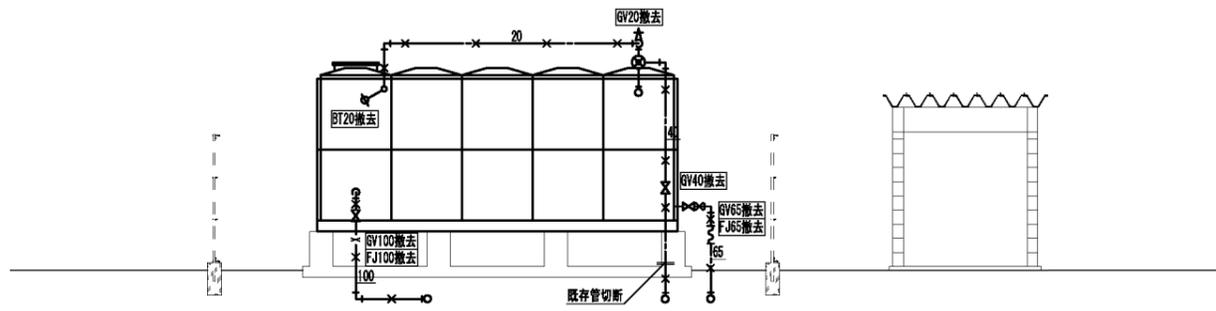
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇250φ及びびりガ-ガ-、取り付け枠を新設する。
3. 給排水、通気管（立て管共）及び配管付属品を新設する。
4. 消火栓配管は既存のままとする。
5. 梁貫通スリーブは既存再使用とする。
6. 水飲み場給水管の仮設用仕切弁は取り付けたままとする。



2, 3階平面詳細図 (改修前) S=1/30



2, 3階平面詳細図 (改修後) S=1/30



既存撤去管凡例

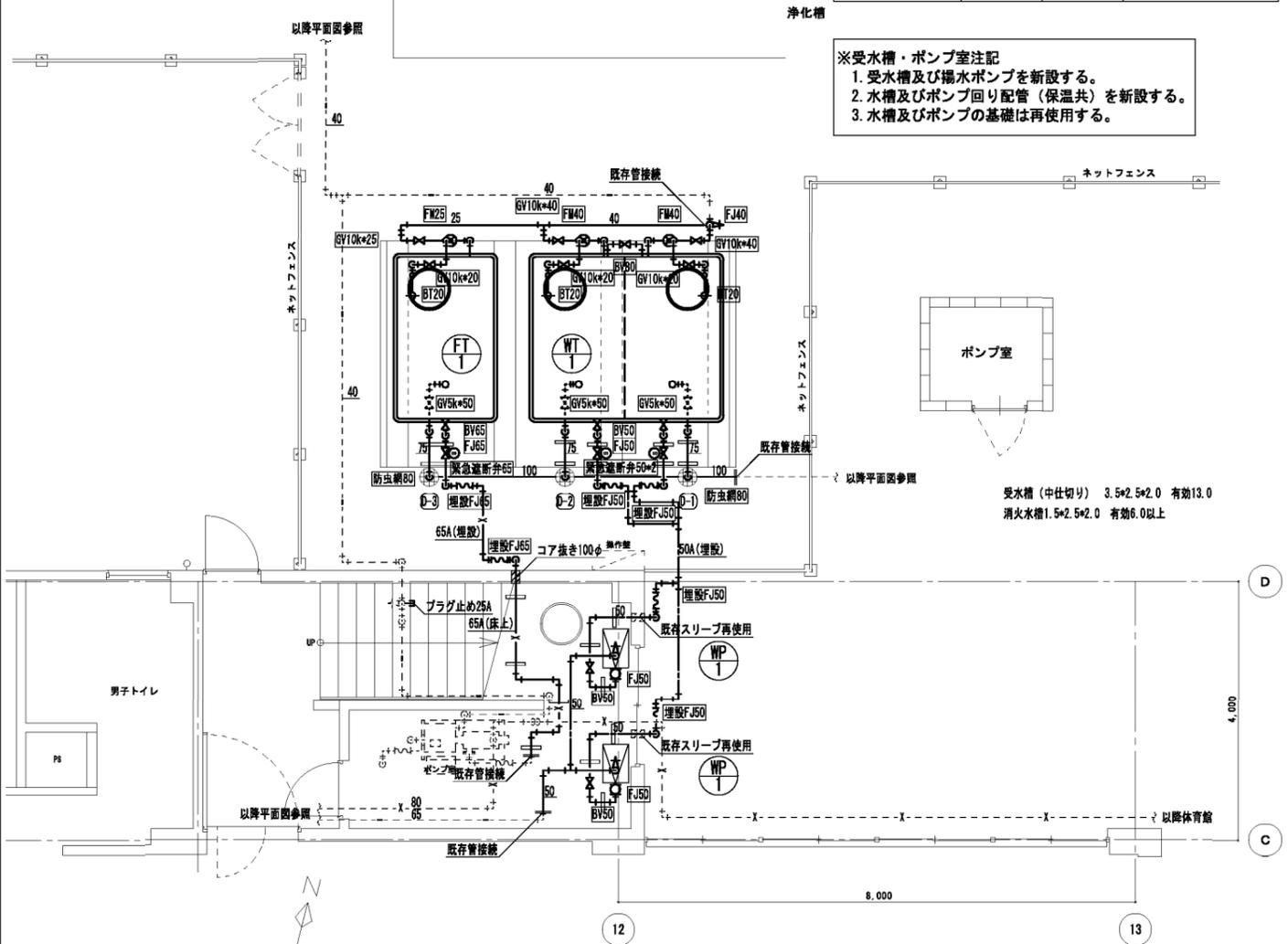
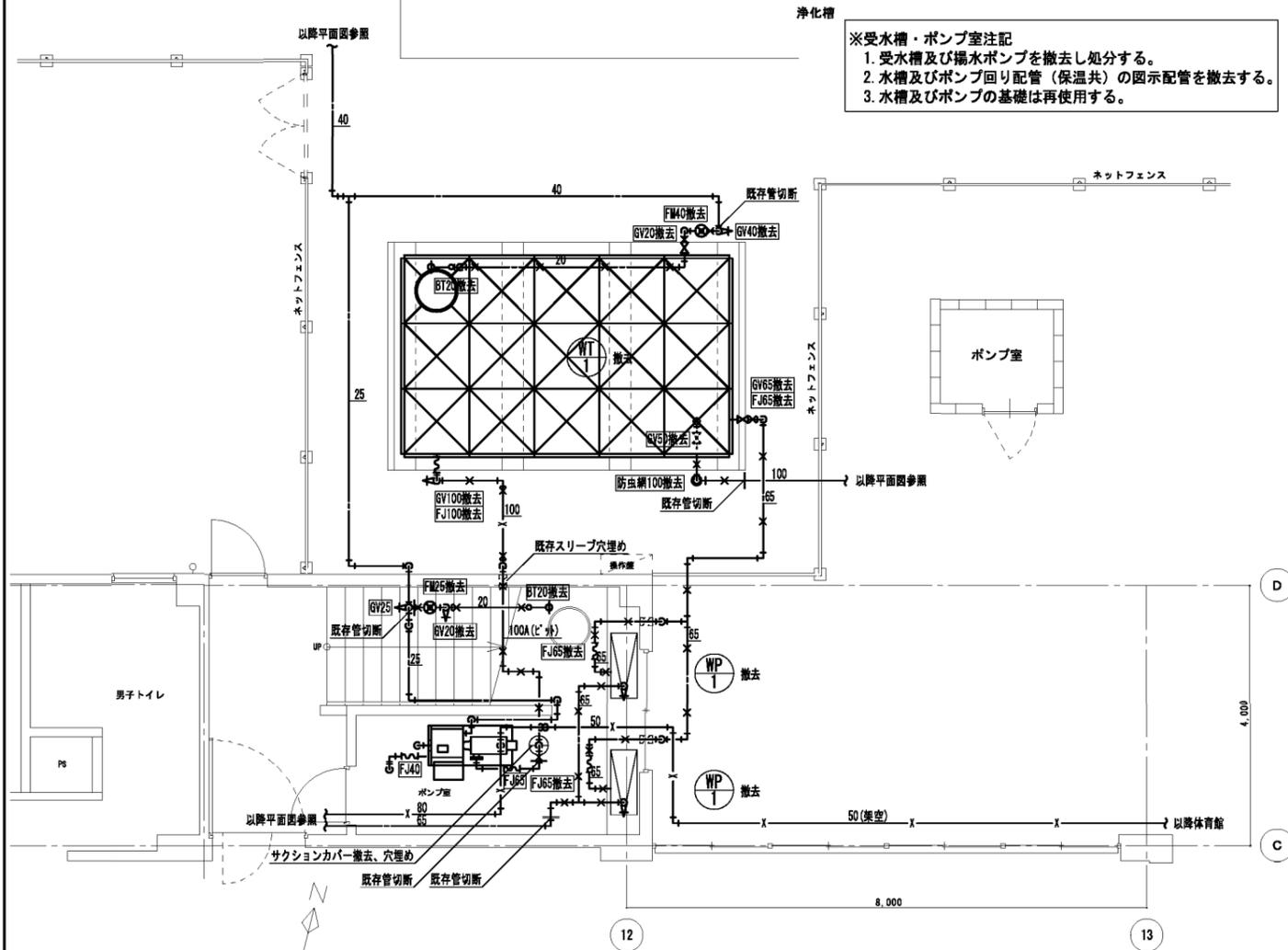
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	機械室・架空	水道用塩ビライニング鋼管
—x—x—		地中埋設	水道用塩ビライニング鋼管

新設管凡例

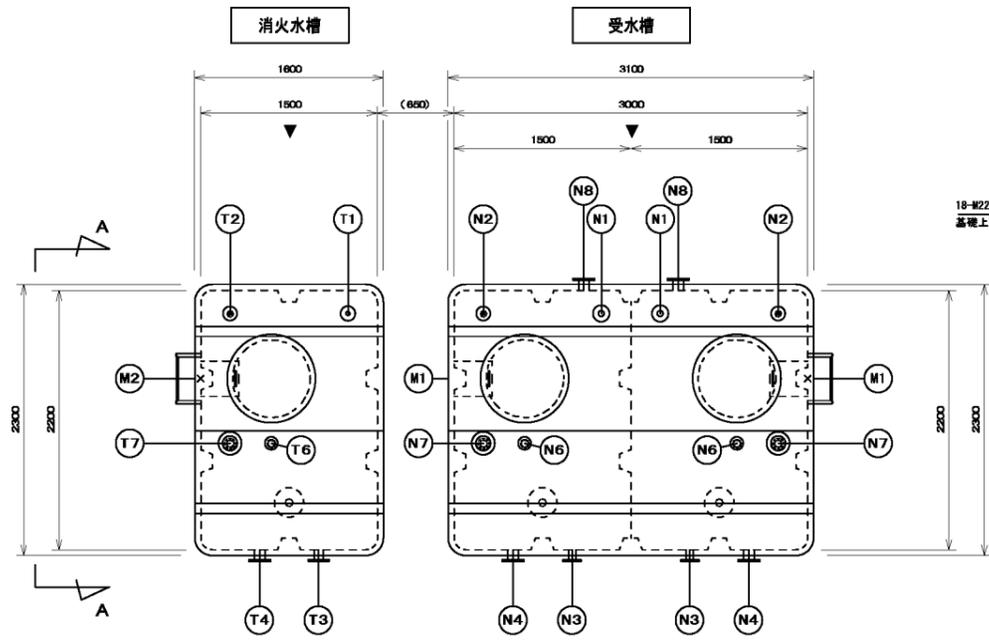
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	機械室・架空	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—x—x—		地中埋設	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—x—x—	排水管	架空	硬質塩ビ塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	既存管		

※受水槽・ポンプ室注記  
 1. 受水槽及び揚水ポンプを撤去し処分する。  
 2. 水槽及びポンプ回り配管（保温共）の図示配管を撤去する。  
 3. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。

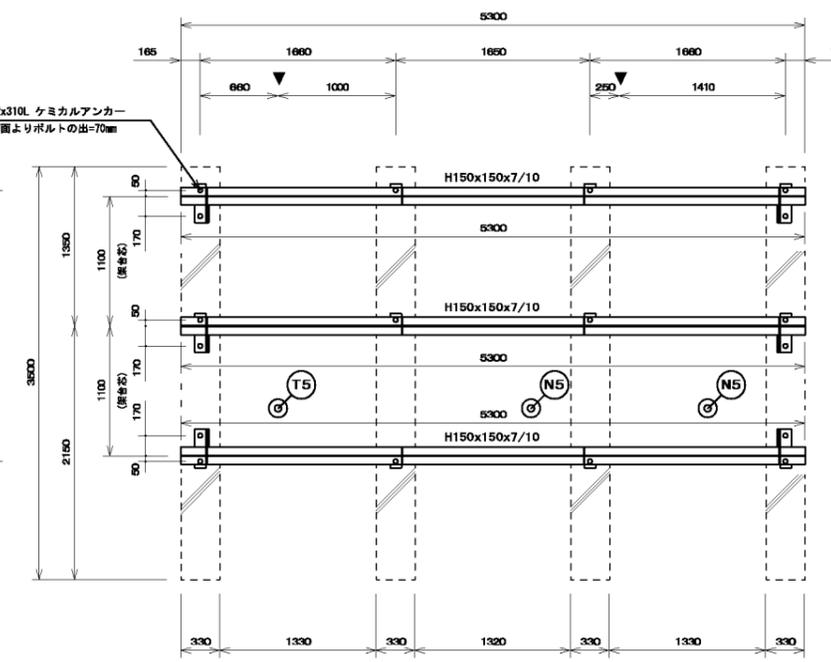
※受水槽・ポンプ室注記  
 1. 受水槽及び揚水ポンプを新設する。  
 2. 水槽及びポンプ回り配管（保温共）を新設する。  
 3. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。



受水槽（中仕切り） 3.5×2.5×2.0 有効13.0  
 消火水槽1.5×2.5×2.0 有効6.0以上



18-#22x310L ケミカルアンカー  
基礎上面よりボルトの出=70mm



アンカーボルト位置図

(既設基礎使用)  
※ 基礎寸法は、製作時実測のこと

(受水槽)WT-1

符号	名称	呼数	管径	継手	備考
N-1	給水口	40A	2 SUS304	JIS10KF	防錆( PVC)
N-2	給水口	80A	2 SUS304	JIS10KF	ボルトアップ
N-3	揚水口	50A	2 SGP	JIS10KF	
N-4	溢水口	80A	2 SGP	JIS10KF	
N-5	排水口	50A	2 SGP	JIS10KF	
N-6	通気口	50A	2 SGP	JIS55KF	防錆( PVC)
N-7	電極座	60A	2 PVC	JIS55KF	防錆( PVC)
N-8	連通口	80A	2 SGP	JIS10KF	
M-1	マンホール	φ650	2 SS400	-	防錆( PVC)

M1マンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)  
外面のフランジ材質はSS400とする

(受水槽)WT-1

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品	
	鋼板製一体型水槽	SS400
材質	SS400	
容積	呼称	有効=1.3m <sup>3</sup>
板厚	天=6.0mm側=4.5mm底=4.5mm	
(JIS規格品使用)		
製品質量	水槽=2490kg 架台=570kg	
防食仕様	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂	
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング	
外面施工	NE-204 厚サ=0.4mm以上	
施工法	加熱硬化型エポキシライニング	
外装色	NE-204 厚サ=0.2mm以上	
設計震度	KH=1.5 KV=0.75	
内梯子	合成樹脂製	
外梯子	SGPの上昇搬送船メッキ仕上(HDZT49)	
架台施工	SS400の上昇搬送船メッキ仕上(HDZT49)	
ボルト・ナット	水槽内部	気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット
		液相部 SUS304
		電極座及び通気口 硬質塩化ビニル
	水槽外部	マンホール SUS304
		アンカーボルト・ナット SUS304
		その他の部分 (SS製材) 溶融亜鉛メッキ(0DZT49)

(消火水槽)FT-1

符号	名称	呼数	管径	継手	備考
T-1	給水口	25A	1 SUS304	JIS10KF	防錆( PVC)
T-2	給水口	20A	1 SUS304	JIS10KF	ボルトアップ
T-3	消火水口	65A	1 SGP	JIS10KF	
T-4	溢水口	80A	1 SGP	JIS10KF	
T-5	排水口	50A	1 SGP	JIS10KF	
T-6	通気口	50A	1 SGP	JIS55KF	防錆( PVC)
T-7	電極座	60A	1 PVC	JIS55KF	防錆( PVC)
M-2	マンホール	φ650	1 SS400	-	防錆( PVC)

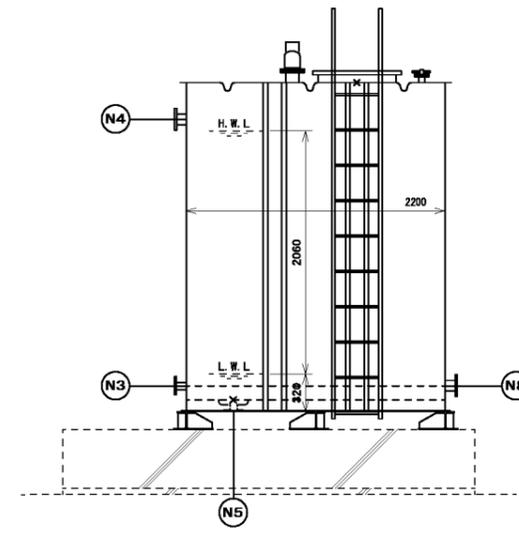
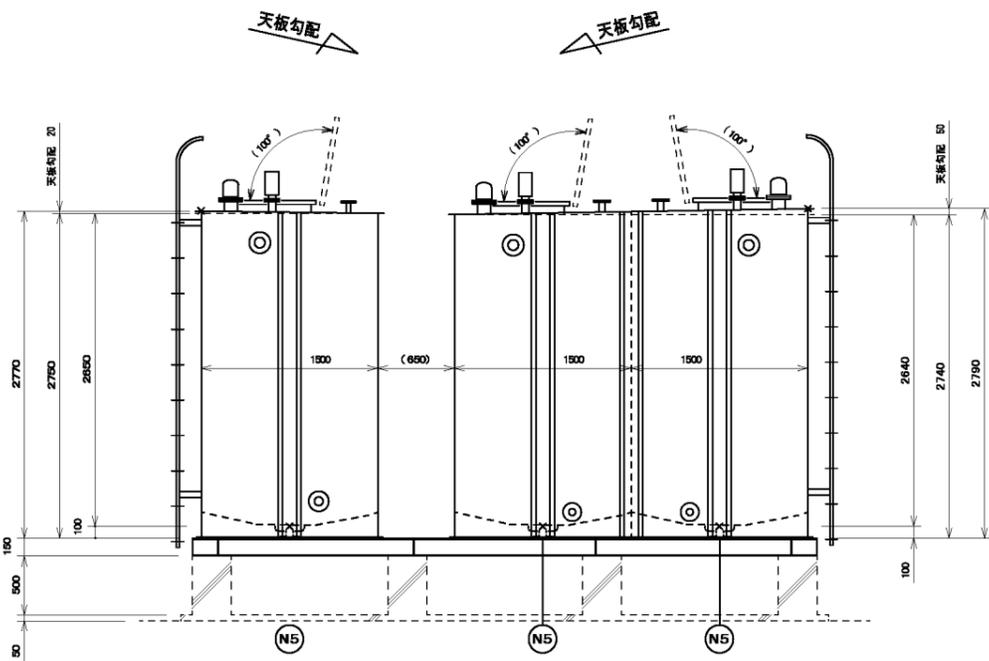
外面のフランジ材質はSS400とする

(消火水槽)FT-1

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品	
	鋼板製一体型水槽	SS400
材質	SS400	
容積	呼称	有効=6m <sup>3</sup>
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm	
(JIS規格品使用)		
製品質量	1330kg	
防食仕様	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂	
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング	
外面施工	NE-204 厚サ=0.4mm以上	
施工法	加熱硬化型エポキシライニング	
外装色	NE-204 厚サ=0.2mm以上	
設計震度	KH=1.5 KV=0.75	
内梯子	合成樹脂製	
外梯子	SGPの上昇搬送船メッキ仕上(HDZT49)	
ボルト・ナット	水槽内部	気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット
		液相部 SUS304
		電極座及び通気口 硬質塩化ビニル
	水槽外部	マンホール SUS304
		その他の部分 (SS製材) 溶融亜鉛メッキ(0DZT49)

付属品

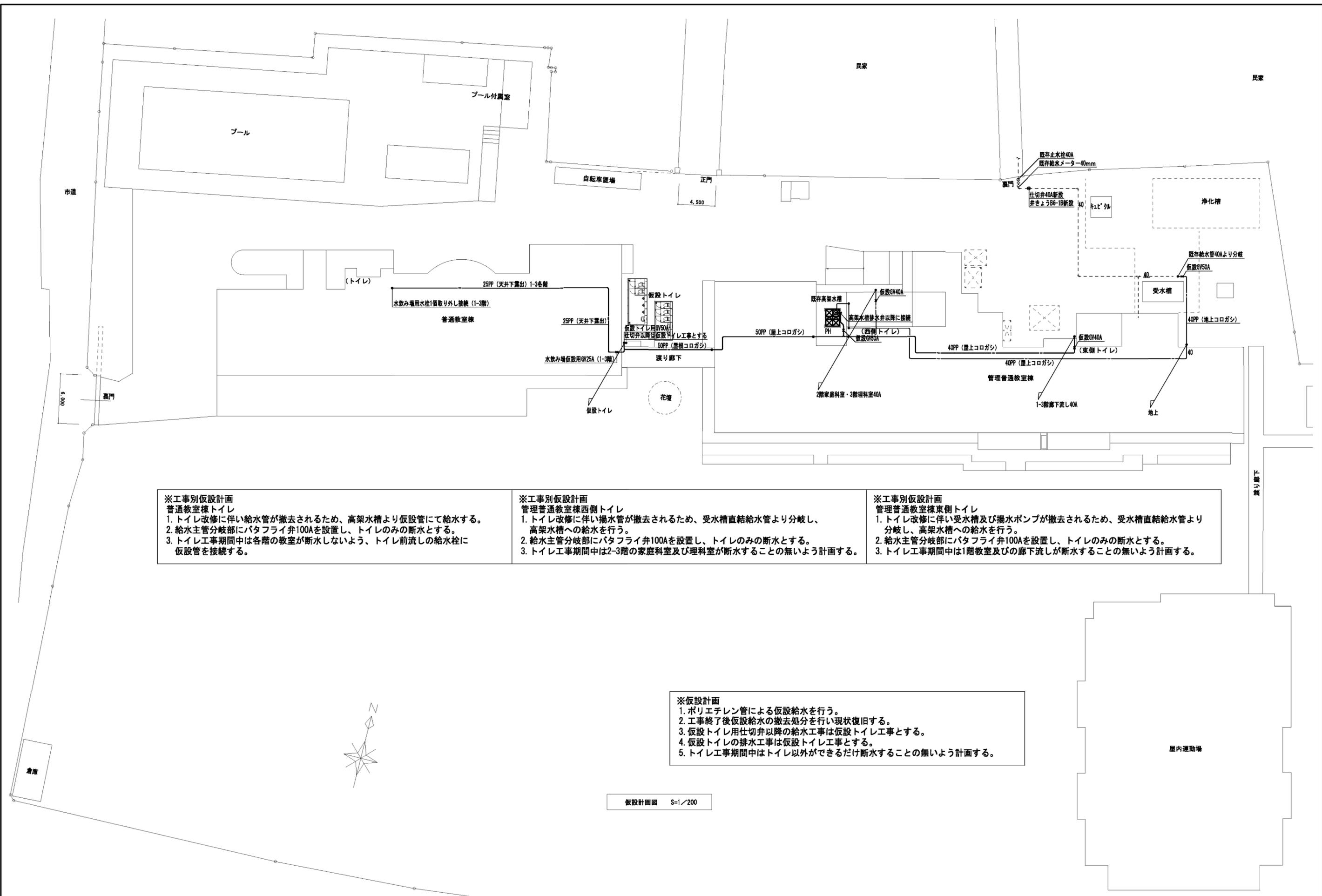
- 緊急遮断弁 50A JIS10K (バタフライ弁) 2ヶ
- 緊急遮断弁 65A JIS10K (バタフライ弁) 1ヶ
- 緊急遮断弁制御盤 1ヶ



A-A矢視図

WT-1

FT-1



※工事別仮設計画  
普通教室棟トイレ

1. トイレ改修に伴い給水管が撤去されるため、高架水槽より仮設管にて給水する。
2. 給水主管分岐部にバタフライ弁100Aを設置し、トイレのみの断水とする。
3. トイレ工事期間中は各階の教室が断水しないよう、トイレ前流しの給水栓に仮設管を接続する。

※工事別仮設計画  
管理普通教室棟西側トイレ

1. トイレ改修に伴い揚水管が撤去されるため、受水槽直結給水管より分岐し、高架水槽への給水を行う。
2. 給水主管分岐部にバタフライ弁100Aを設置し、トイレのみの断水とする。
3. トイレ工事期間中は2-3階の家庭科室及び理科室が断水することの無いよう計画する。

※工事別仮設計画  
管理普通教室棟東側トイレ

1. トイレ改修に伴い受水槽及び揚水ポンプが撤去されるため、受水槽直結給水管より分岐し、高架水槽への給水を行う。
2. 給水主管分岐部にバタフライ弁100Aを設置し、トイレのみの断水とする。
3. トイレ工事期間中は1階教室及びの廊下流しが断水することの無いよう計画する。

※仮設計画

1. ポリエチレン管による仮設給水を行う。
2. 工事終了後仮設給水の撤去処分を行い現状復旧する。
3. 仮設トイレ用仕切弁以降の給水工事は仮設トイレ工事とする。
4. 仮設トイレの排水工事は仮設トイレ工事とする。
5. トイレ工事期間中はトイレ以外ができるだけ断水することの無いよう計画する。

仮設計画図 S=1/200

